

現代文理解の問題点

高校生の語彙の実態

(中間報告)

国語科教官共同研究

報告者 松 井 一 夫

（前 書）

全国付属学校連盟高校部会においては、毎年、教科および生徒指導面に関する研究発表会が行なわれているのであるが、昭和39年度および40年度の2か年にわたって、国語科が研究発表の機会を与えられることになった。そして、各校国語科代表による準備打合会の席上、各校共通の研究テーマとして、「現代文理解の問題点」という大テーマが与えられ、その大テーマの範囲内で、各校の実態に応じて適宜、小テーマを設け、研究を進めるといふ方針が決定された。

本校国語科においては、早速、小テーマを何にするかについて慎重な審議を行ない、その結果、「高校生の語彙の実態」という小テーマを取り上げ、2か年連続で、主として本校生徒の語彙の実態を調査することになった。

以下は、初年度における研究調査の報告であり、昭和39年11月、広島大学付属高校において開催された研究発表会における中間報告の発表要項に加筆したものである。

（一） 語彙調査実施の目的

現代文の読解にあたっては、文意の把握ということが大きな眼目となる。しかし、文意を正しく把握するためには、その文中の用語の意味が正しく理解されていることが必要である。つまり、文意の把握と語義の理解とは、いわば表裏一体の関係にあるのであって、文章を読解する場合には、この二面がともに重視されなければならない。しかるに、最近の国語科の指導の場においては、一般に文意の把握という面のみが過度に重視され、語義の理解という面はやや軽視されているのではないかと思われるふしが見られる。もし、それが事実であるとするならば、生徒の語彙の面にも当然その影響があらわれているのではないかと想像される。

本調査は、そのような観点の上に立って本校生徒の語彙の実態を調査し、その結果得られる資料を、今後の国語科学習指導の面に大いに活用させたいとの念願から実施されたものである。

（二） 調査対象学年および人員

本校第2学年生徒（4学級約150名）

（三） 調査時期

昭和39年9月～10月

（四） 調査内容（取り上げた語句）

国立国語研究所長 岩淵悦太郎氏著「国語の力を増しましょう」（日本リーダーズ・ダイジェスト社発行）所収の1200語。

本書は、その凡例によれば、「言葉についての自分の力をためし、かつ、言葉についての力を増して行くのに役立つように、仕組んだもの」であり、月刊誌「リーダーズ・ダイジェスト」誌上に5年にわたって連載されたものに手を加えてまとめたものである。「1回分に単語または句を20題あげてある。そこにある選択肢によって自分の答を出し、解答

欄にあるものと照らし合わせる。」という形式で、全部で60回分1200語収めてある。取り上げられている単語または句は、現在生きて使用されているものを中心とし、そのほかに、明治・大正期の文学作品に現われたものや、近年の短歌・俳句に使用されている古語などを含んでいる。

われわれは、今回の語彙調査において、本校生徒がその日常生活の中で、または「現代国語」の教材の中で、耳に触れ、目に触れる語句についてどの程度の理解力を有しているかを調べたい、と考えていたのであるが、その意味で、岩淵氏のこの著作が（取り上げられた語句や選択肢の中に、やや適切を欠くと思われる箇所が多少あるにもかかわらず）全般的には、われわれの実施しようとしている調査の意図にかなうものであることを知り、この書に収められた1200語すべてについて調査を行なうことに決定した。

（ただし、39年度中には600語についてのみ調査し、残りの600語については、40年度に新高2の4学級約160名の生徒を対象に調査を実施する予定。）

（五）調査方法

1) 調査形式

1200語を100語ずつの12回分に分け、各回それぞれ1枚の調査用紙の表裏両面に50語ずつ印刷し、それぞれの語句の意味を各4箇の選択肢の中から選ばせ、その記号を問題番号の右側に付した（ ）の中に記入させる。

2) 調査時間 その他

各回40分の解答時間を与え、欠時やホーム・ルームの時間などを利用して、学級ごとに実施した。

（付表1）語彙調査用紙見本（第1回の分のみを示す）

（表 面）

語彙調査(No.1A) 東京教育大学付属駒場高等学校 年組番氏名

1. () あまのじゃく (イ)けちんぼう (ロ)なまけもの (ハ)つむじまがり (ニ)おこりんぼう
2. () 当用(トウヨウ) (イ)さしあたりの用 (ロ)当番としての用 (ハ)当然用いるべき (ニ)常に用いるべき
3. () 顔役(カオヤク) (イ)役者の顔をつくる人 (ロ)こまごまと世話をやく人 (ハ)きりょうのよい人 (ニ)その土地で勢力のある人
4. () わたのほら (イ)はらわた (ロ)おおうみ(大海) (ハ)みずうみ (ニ)広い野原

47. () 女坂(オンナザカ) (イ)神社にお参りする坂 (ロ)石で段段にした坂 (ハ)道はばのせまい坂 (ニ)傾斜のゆるやかな坂
48. () 唐物屋(トウブツヤ) (イ)骨董店 (ロ)洋品店 (ハ)仏具店 (ニ)荒物店
49. () 内弁慶(ウチベンケイ) (イ)家の中だけでいばりちらすこと (ロ)家の中に閉じこもっていること (ハ)外で強がっていばりちらすこと (ニ)外見はおとなしいがしんが強いこと
50. () けたちがい (イ)とんでもないあやまり (ロ)へだたりの大きいこと (ハ)まったくはずれた答 (ニ)建築上の手ちがい

(裏 面)

語彙調査(No.1B) 東京教育大学付属駒場高等学校 年組番氏名

51. () 山出し(ヤマダシ) (イ)いなかから出た物なれない人 (ロ)見るからにがらの悪い人 (ハ)物わりの悪い人 (ニ)方言まるだしの入
52. () いなせ (イ)すらしとしている (ロ)ごろつきふう (ハ)勇みはだである (ニ)かるがるしい
53. () 目の子かんじょう (イ)暗算で計算すること (ロ)割り前かんじょう (ハ)表面だけを見渡すこと (ニ)ごく大まかな計算
54. () 風聞(フウブン) (イ)波風の音 (ロ)風車の音 (ハ)うわさ話 (ニ)ひそひそ話

98. () 岡目八目(オカメハチモク) (イ)局外者には得失がよくわかること (ロ)勝手気ままなことをいうこと (ハ)事件を冷静にながめていること (ニ)よその事に構わず独断的なこと
99. () 川止(カワドメ) (イ)川の水をせきとめること (ロ)旅人の川の通行を禁止すること (ハ)出水を防ぐため土手をきざること (ニ)川で魚をとることを禁止すること
100. () 敵は本能寺(ホンノウジ) (イ)めざす敵は仏教であること (ロ)めざす相手はお寺であること (ハ)真の目的はほかにあること (ニ)目前の敵は相手にならないこと

(付表2) 語彙調査問題(No.1~No.6)

(No.1)

1. あまのじゃく (イ)けちんぼう (ロ)なまけもの (ハ)つむじまがり (ニ)おこりんぼう
2. 当用(トウヨウ) (イ)さしあたりの用 (ロ)当番としての用 (ハ)当然用いるべき (ニ)常に用いるべき
3. 顔役(カオヤク) (イ)役者の顔をつくる人 (ロ)こまごまと世話をやく人 (ハ)きりょうのよい人 (ニ)その土地で勢力のある人
4. わたのはら (イ)はらわた (ロ)おおうみ(大海) (ハ)みずうみ (ニ)広い野原
5. 上手(カミテ) (イ)川口に向かって左の方 (ロ)川口に向かって右の方 (ハ)舞台の向かって左の方 (ニ)舞台の向かって右の方
6. おか蒸気(ジョウキ) (イ)ボイラー (ロ)汽船 (ハ)汽車 (ニ)かご
7. おかぐら (イ)建て増しをしたところ (ロ)平屋の上につけたした二階 (ハ)急ごしらえの仮の家 (ニ)今にもこわれそうな家
8. 成金(ナリキン) (イ)大変な金持 (ロ)にわか金持 (ハ)がらの悪い金持 (ニ)ぜいたくな金持
9. 岳父(ガクフ) (イ)伯父 (ロ)継父 (ハ)祖父 (ニ)妻の父
10. 松の内(マツノウチ) (イ)元日から三日まで (ロ)元日から五日まで (ハ)元日から七日まで (ニ)元日から十日まで
11. 赤の他人(アカノタニン) (イ)親類でない人 (ロ)全くの他人 (ハ)初対面の人 (ニ)縁のない人
12. 赤ゲット (イ)地方からのおのぼりさん (ロ)赤い服をつけた兵隊さん (ハ)流行おくれのやばな服装 (ニ)廊下に敷いた赤い敷物
13. サンフォライズ (イ)つや出し加工 (ロ)色のさめない加工 (ハ)丈夫にする加工 (ニ)縮みを防ぐ加工
14. ギヤマン (イ)陶磁器 (ロ)ガラス (ハ)コップ (ニ)灰皿
15. ぼたん雪 (イ)ふわふわ飛んでくる雪 (ロ)さらさらと降ってくる雪 (ハ)季節はずれに降る雪 (ニ)大片でぼたぼたした雪
16. アリバイ (イ)犯罪の証拠品 (ロ)現場にいた証拠 (ハ)現場不在の証明 (ニ)勤務先の証明
17. ロハ台 (イ)公園などにある腰掛 (ロ)三人掛けの長い腰掛 (ハ)茶店を出している縁台 (ニ)夕すずみに使う縁台

18. けりをつける (イ)完全に (ロ)結末を (ハ)大掃除を (ニ)親もとへ帰す
19. のっぺり (イ)非常にうすぺらなさま (ロ)平らでこぼこのないさま (ハ)ながながと伸びているさま (ニ)まっ白にぬりたてたさま
20. のれんに腕押し (ウデオシ) (イ)力を入れても手応えのないこと (ロ)ふらふらしてたよりがなこと (ハ)相手がいかに弱すぎること (ニ)目標がはっきり定まらないこと
21. 一目散 (イチモクサン) (イ)漢方の目薬の名称 (ロ)ひたすら急ぐさま (ハ)広く見渡せること (ニ)てんでんばらばら
22. 小春日和 (コハルビヨリ) (イ)雲一つなく晴れた日 (ロ)春先の暖かく晴れた日 (ハ)正月の暖かく晴れた日 (ニ)初冬の暖かく晴れた日
23. にどいも (イ)さつまいも (ロ)ながいも (ハ)じゃがいも (ニ)さといも
24. おおらか (イ)おおよう (ロ)すべすべ (ハ)大ざっぱ (ニ)おだやか
25. 書札 (ショサツ) (イ)立て札 (ロ)標札 (ハ)書物 (ニ)手紙
26. あぶくぜに (イ)すこしばかりの金 (ロ)つかいでのない金 (ハ)働かないで得た金 (ニ)あり余るほどの金
27. 地雨 (ジアメ) (イ)ある強さで連続的に降る雨 (ロ)ある土地だけに降る雨 (ハ)降りみ降らずみの梅雨 (ニ)にわか降って来る夕立
28. 昼行燈 (ヒルアンドン) (イ)あわて者 (ロ)ぼんやり (ハ)無知の者 (ニ)いたづら
29. 赤字 (アカジ) (イ)売約済みの札 (ロ)利益の生じたこと (ハ)破産寸前の状態 (ニ)欠損の生じたこと
30. 白書 (ハクショ) (イ)何も書いてない紙 (ロ)実情を報告した文書 (ハ)自白を記したもの (ニ)よごれのない書物
31. ニコポン (イ)相手におべっかをつかうこと (ロ)自分の思い通りにふるまうこと (ハ)人をぼんぼんやっつけること (ニ)親しそうにして人をそらさないこと
32. ハイカラ (イ)おしゃれなこと (ロ)スマートなこと (ハ)高慢ちきなこと (ニ)端正なこと
33. ギャング (イ)あきすねらい (ロ)商店街のこそどろ (ハ)いばって歩く不良 (ニ)凶器を持つ悪漢団
34. 半ドン (イ)祝祭日の午後 (ロ)土曜日のこと (ハ)正午の大砲の音 (ニ)どんぶり半分
35. 落丁 (ラクチョウ) (イ)ページが抜けていること (ロ)本が汚れていること (ハ)表紙がいたんでいること (ニ)誤植が多くあること
36. パニック (イ)破産すること (ロ)不景気なこと (ハ)金融界の恐慌 (ニ)暴動の起こること
37. 麦秋 (バクシュウ) (イ)陰暦五月の異称 (ロ)陰暦六月の異称 (ハ)陰暦七月の異称 (ニ)陰暦八月の異称
38. 青史 (セイシ) (イ)青くさい人 (ロ)青年時代 (ハ)青表紙の本 (ニ)歴史のこと
39. こう屋のあさって (イ)約束の期限があてにならないこと (ロ)うまく言いぬけてしまうこと (ハ)むやみに言いわけばかりすること (ニ)苦しまざれにいつわりを言うこと
40. のたりのたり (イ)のんびりしたさま (ロ)だらだらしたさま (ハ)うねりゆくさま (ニ)苦しみなやむさま
41. 未曾有 (ミゾウ) (イ)ごく大じかけなこと (ロ)きわめて偉大なこと (ハ)きわめて珍しいこと (ニ)ひどく大騒ぎなこと
42. 黒幕 (クロマク) (イ)性格が陰険な人 (ロ)裏で画策する人 (ハ)引っ込み思案の人 (ニ)陰で悪口を言う人
43. 高飛車 (タカビシャ) (イ)ごうまん (ロ)がんこ (ハ)飛躍的 (ニ)威圧的
44. 還暦 (カンレキ) (教元年で) (イ)五十才 (ロ)六十才 (ハ)六十一才 (ニ)七十才
45. ジグザグ (イ)電光形 (ロ)丁字形 (ハ)凹字形 (ニ)S字形
46. かわたれどき (イ)太陽が地平線に沈もうとする時 (ロ)あけがたか夕方うすぐらい時 (ハ)月夜であたりがうすぐらい時 (ニ)月がなくて全くまっくらな時

47. 女坂（オンナザカ） (イ)神社にお参りする坂 (ロ)石で段段にした坂 (ハ)道はぼのせまい坂 (ニ)傾斜のゆるやかな坂
48. 唐物屋（トウブツヤ） (イ)骨董店 (ロ)洋品店 (ハ)仏具店 (ニ)荒物店
49. 内弁慶（ウチベンケイ） (イ)家の中だけでいばりちらすこと (ロ)家の中に閉じこもっていること (ハ)外で強がいばりちらすこと (ニ)外見はおとなしいがしんが強いこと
50. けたちがい (イ)とんでもないあやまり (ロ)へだたりの大きいこと (ハ)まったくはずれた答 (ニ)建築上の手ちがい
51. 山出し（ヤマダシ） (イ)いなかから出た物なれない人 (ロ)見るからにがらの悪い人 (ハ)物わかりの悪い人 (ニ)方言まる出しの人
52. いなせ (イ)すらしとしている (ロ)ごろつきふう (ハ)勇みはだである (ニ)かるがるしい
53. 目の子かんじょう (イ)暗算で計算すること (ロ)割り前かんじょう (ハ)表面だけ見渡すこと (ニ)ごく大まかな計算
54. 風聞（フウブン） (イ)波風の音 (ロ)風車の音 (ハ)うわさ話 (ニ)ひそひそ話
55. 斜陽族（シャヨウゾク） (イ)落ち目の上流階級 (ロ)実力のない下流階級 (ハ)安定した中産階級 (ニ)前途に望みのない人々
56. 暖色（ダンショク） (イ)緑・青・藍 (ロ)赤・黄・青 (ハ)赤・橙・黄 (ニ)黄・緑・青
57. 好事家（コウズカ） (イ)世話やき (ロ)ものずき (ハ)変わり者 (ニ)学者
58. ちょうちん（提灯）をもつ (イ)他人の長所を宣伝する (ロ)他人のあらを宣伝する (ハ)人をおだてあげる (ニ)やたらに言いふらす
59. 三下半（ミクダリハン） (イ)わび証文 (ロ)質札 (ハ)借用証 (ニ)離縁状
60. 鬼の霍乱（カクラン） (イ)鬼でもかかるような悪性の病氣 (ロ)健康で病氣などにかからないこと (ハ)平素丈夫な人が病氣にかかること (ニ)強くてびくともしないこと
61. 白眼視（ハクガンシ） (イ)じいっとにらむこと (ロ)知らぬふりをする (ハ)大事に取り扱うこと (ニ)冷淡に取り扱うこと
62. 三面記事（サンメンキジ） (イ)学芸記事 (ロ)社会記事 (ハ)政治記事 (ニ)国際記事
63. 二枚目（ニマイメ） (イ)道化役 (ロ)かたき役 (ハ)美男役 (ニ)おんながた
64. うまのあし (イ)下級の役者 (ロ)舞台を回す人 (ハ)竹馬のこと (ニ)つまりぬ物
65. 恵存（ケイソン） (イ)つつしんで差し上げます (ロ)お手元にお置き下さい (ハ)どうぞお読み下さい (ニ)どうぞ御批評下さい
66. 季刊（キカン） (イ)年一回刊行 (ロ)年二回刊行 (ハ)年四回刊行 (ニ)年六回刊行
67. 札（フダ）つき (イ)悪い意味で定評のある人 (ロ)よい意味で定評のある人 (ハ)罪を犯したことがある人 (ニ)人からの指図で働く人
68. 千三つ（センミツ） (イ)盛り場をうろつく人 (ロ)とても要領のよい人 (ハ)むずかしいことを言う人 (ニ)うそをよくつく人
69. 居候（イソウロウ） (イ)下宿する人 (ロ)寄食する人 (ハ)滞在のお客 (ニ)ひとり者
70. 三百代言（サンビヤクダイゲン） (イ)詭弁を弄する人 (ロ)雄弁に話す人 (ハ)世間の憎まれ者 (ニ)わがままな人
71. かなぼうひき (イ)たいへんなおしゃべり (ロ)ひどく軽はずみな人 (ハ)うわさをして歩く人 (ニ)うるさく小言を言う人
72. ローカル・カラー (イ)美しい色彩 (ロ)風景写真 (ハ)鉄道路線 (ニ)地方色
73. サイノロジー (イ)女性にあまいこと (ロ)妻君にあまいこと (ハ)女性に関する心理学 (ニ)うすのろであること
74. テクシー (イ)タクシーのこと (ロ)馬車で行くこと (ハ)人力車で行くこと (ニ)歩いて行くこと

75. 大童(オオワラワ) (イ)あわてふためくこと (ロ)大いに苦心すること (ハ)けんめいに働くこと
(ニ)ゆったりしていること
76. こち (イ)東風 (ロ)西風 (ハ)南風 (ニ)北風
77. シャッポをぬぐ (イ)あきれ (ロ)おどろく (ハ)よろこぶ (ニ)降参する
78. 口をぬぐう (イ)そしらぬ顔をする (ロ)おしゃべりをやめる (ハ)だまりこんでいる (ニ)あと片付けをする
79. からのすの行水(ギョウズイ) (イ)ゆっくり入浴することのたとえ (ロ)大急ぎで入浴をすますこと
のたとえ (ハ)肌の黒い人が化粧をすることのたとえ (ニ)世間に珍しいことのたとえ
80. 門前雀羅(モンゼンジャクラ)を張る (イ)門前にすずめがたくさんいること (ロ)門前がひどく散
らかっていること (ハ)たずねて来る人で非常ににぎわうこと (ニ)おとずれる人もなく非常にさ
びれていること
81. アイス (イ)高利貸 (ロ)資本家 (ハ)事業家 (ニ)冷たい人
82. ラムネ (イ)月給 (ロ)月賦 (ハ)年賦 (ニ)貧乏
83. ラジオ (イ)無銭飲食 (ロ)うわさ話 (ハ)早耳の人 (ニ)おしゃべり
84. どや (イ)工場 (ロ)飲食店 (ハ)旅館 (ニ)ねどこ
85. のび (イ)おいはぎ (ロ)すり (ハ)強盗 (ニ)どろぼう
86. バタバタ (イ)荷馬車 (ロ)自転車 (ハ)トラック (ニ)オート三輪車
87. けとばし屋 (イ)牛肉屋 (ロ)馬肉屋 (ハ)屋台店 (ニ)下駄屋
88. 螢光燈(ケイコウトウ) (イ)頭のめぐりのにぶい人 (ロ)頭のめぐりの早い人 (ハ)そわそわしてい
る人 (ニ)はでにふるまう人
89. ねこのひたい (イ)小さな顔 (ロ)僅かな金 (ハ)なか庭 (ニ)狭い場所
90. 虫のいき (イ)ゆったりとした呼吸 (ロ)ごくかすかな呼吸 (ハ)あらあらしい行動 (ニ)こっそりとし
た行動
91. ラッパふき (イ)大声を出す人 (ロ)ほらをふく人 (ハ)くふうする人 (ニ)いそがせる人
92. 一六銀行(イチロクギンコウ) (イ)財布 (ロ)母親 (ハ)質屋 (ニ)金貸
93. 地獄耳(ジゴクミミ) (イ)耳鳴りのすること (ロ)何度聞いても忘れること (ハ)一度聞いたら忘れ
ないこと (ニ)少しも聞えない耳
94. しもたや (イ)構えのごく大きな家 (ロ)構えのごく小さな家 (ハ)店を持って商売をしている家 (ニ)
商売をしないで暮している家
95. へそくり (イ)こっそりためておく金 (ロ)ぬすんでためておく金 (ハ)銀行に預けておく金 (ニ)親か
らせしめる小遣銭
96. 店屋物(テンヤモノ) (イ)非常においしい食べ物 (ロ)店先に並べた野菜 (ハ)飲食店から取った食
べ物 (ニ)大安売りの見切り品
97. 生兵法(ナマビョウホウ) (イ)ひどくなまいきなこと (ロ)すぐけんかが早いこと (ハ)兵法はま
ったく知らないこと (ニ)少しは知っているが未熟なこと
98. 岡目八目(オカメハチモク) (イ)局外者には得失がよくわかること (ロ)勝手気ままなことをいう
こと (ハ)事件を冷静にながめていること (ニ)よその事に構わず独断的なこと
99. 川止(カワドメ) (イ)川の水をせきとめること (ロ)旅人の川の通行を禁止すること (ハ)出水を防
ぐため土手をきざくこと (ニ)川で魚をとることを禁止すること
100. 敵は本能寺(ホンノウジ) (イ)めざす敵は仏教であること (ロ)めざす相手はお寺であること
(ハ)真の目的はほかにあること (ニ)目の敵は相手にならないこと

(No. 2)

1. 遊説(ユウゼイ) (イ)自分の意見を説き回ること (ロ)相手をくどき落とすこと (ハ)観光地を案内
すること (ニ)議員候補者の選挙演説

2. 言質（ゲンチ） (イ)議会で行なう質問演説 (ロ)質問に対する答弁 (ハ)後日の証拠となる言葉
(ニ)相手に約束させること
3. 台頭（タイトウ）する (イ)勇敢に戦う (ロ)頭をもたげる (ハ)強大になる (ニ)芽が出る
4. 処女峰（ショジョホウ） (イ)女性的なやさしい姿をした山 (ロ)真夏でも雪がとけないである山
(ハ)人間にまだ一度も登られない山 (ニ)非常にけわしくて登りにくい山
5. 汚職（オショク） (イ)金を人からもらうこと (ロ)金や品物を欲ばること (ハ)役人が仕事をなまけること (ニ)役人が不正をはたらくこと
6. 社用族（シャヨウゾク） (イ)社費で遊興する者 (ロ)はでに遊ぶ会社員 (ハ)金の工面をする者
(ニ)社用で飛び回る者
7. 筋金（スジガネ）入り (イ)ひどくがんこなこと (ロ)うるおいのないこと (ハ)しっかりしていること
(ニ)正義感の強いこと
8. 頭金（アタマキン） (イ)元になる金 (ロ)予備の金 (ハ)借り入れ金 (ニ)銀行の貯金
9. 蟬時雨（セミシグレ） (イ)雨が音を立てて降り出すこと (ロ)多くのせみが鳴き立てること (ハ)せみがぱっと飛び出ること (ニ)せみが鳴きながら飛ぶこと
10. 雲の峰（クモノミネ） (イ)いわし雲 (ロ)まだら雲 (ハ)ひつじ雲 (ニ)入道雲
11. 発句（ホク） (イ)川柳のこと (ロ)俳句のこと (ハ)狂句のこと (ニ)冠付けのこと
12. がちゃがちゃ (イ)すず虫 (ロ)きりぎりす (ハ)まつ虫 (ニ)くつわ虫
13. 月下氷人（ゲツカヒョウジン） (イ)清潔な人 (ロ)なこうど (ハ)たびびと (ニ)冷酷な人
14. バンガロウ (イ)避暑地の別荘 (ロ)山中のホテル (ハ)簡易な山小屋 (ニ)テントの小屋
15. 長月（ナガツキ） (イ)七月の異称 (ロ)八月の異称 (ハ)九月の異称 (ニ)十月の異称
16. 顔まけ (イ)相手にこちらが圧倒されること (ロ)相手に位ませること (ハ)きりょうが劣っていること (ニ)顔がすっかり荒れること
17. 宿六（ヤドロク） (イ)宿屋の亭主 (ロ)宿なしの男 (ハ)妻から夫を呼ぶ称 (ニ)愚かな男を呼ぶ称
18. よりけり (イ)正に相当であること (ロ)不相当であること (ハ)確実には言えないこと (ニ)一概には言えないこと
19. パントマイム (イ)無言劇 (ロ)喜劇 (ハ)悲劇 (ニ)紙芝居
20. 河童（カッパ）の川流れ (イ)きわめてめずらしい出来ごと (ロ)得意なことで不覚をとること (ハ)たいへん水泳に巧みなこと (ニ)どこへ行くかわからないこと
21. 巨頭（キョウトウ） (イ)大親分 (ロ)大立者 (ハ)大統領 (ニ)総理大臣
22. 頭（アタマ）ごなし (イ)頭からかじること (ロ)大きな声を出すこと (ハ)最初から押えつけること
(ニ)まったく無頓着なこと
23. 鉄面皮（テツメンピ） (イ)どうもうな顔 (ロ)非常にしぶい顔 (ハ)ひどく冷酷なこと (ニ)あつかましいこと
24. 目きぎ (イ)良否を見分けること (ロ)遠くまで見えること (ハ)横目をつかうこと (ニ)全くすばしいこと
25. 目抜（メヌキ） (イ)場末の町 (ロ)主要な所 (ハ)はずれた所 (ニ)寂しい裏町
26. 焦眉（シヨウビ）の急 (イ)もっとも大切なこと (ロ)もっとも危険なこと (ハ)さしせまった急務
(ニ)気がいらいらすること
27. 鼻下長（ビカチョウ） (イ)鼻ひげ (ロ)むっつり (ハ)おひとよし (ニ)女にあまいこと
28. 鼻つまみ (イ)非常に不潔であること (ロ)ひどく人にいやがられること (ハ)何となく人にきらわれること (ニ)おもしろがられること
29. 鼻持（ハナモチ）がならぬ (イ)たいへん愉快である (ロ)とてもいきぐるしい (ハ)お粗末きわまりない (ニ)見聞くに堪えない
30. 口過ぎ (イ)生計 (ロ)おしゃべり (ハ)悪口 (ニ)弁解

31. 口入屋(クチイレヤ) (イ)食べ物をとどける人 (ロ)おせっかいをする人 (ハ)就職口を世話する人
(ニ)うまく言いくるめる人
32. 減(へ)らず口 (イ)ペラペラしゃべること (ロ)始終物を食べていること (ハ)大いに反対すること
(ニ)負けおしみを言うこと
33. 口車(クチグルマ) (イ)冗談を飛ばすこと (ロ)うまく言いまわすこと (ハ)お調子を合わせること
(ニ)おべっかを言うこと
34. 年齒(ネンシ) (イ)歯の生え初め (ロ)親知らず歯 (ハ)年齢のこと (ニ)わかいころ
35. 舌代(ゼツダイ) (イ)口上の代りの書き付け (ロ)簡条書きにした書き付け (ハ)各種の料理の代金表
(ニ)食べ物屋のメニュー
36. 長舌(チョウコウゼツ) (イ)ひろめ屋の口上 (ロ)代議士の国会演説 (ハ)甘ったるいしゃべり方
(ニ)長長としゃべること
37. 寝耳(ネミミ)に水 (イ)急に起こされること (ロ)大騒ぎになること (ハ)不意に事が起こって驚くこと
(ニ)初めて耳にすること
38. あごをなでる (イ)ひどく得意な様子 (ロ)非常に悲しむ様子 (ハ)笑いをかみ殺す様子 (ニ)ぼんやりした様子
39. 唇齒(シンシ) (イ)兄弟が仲のよいこと (ロ)利害関係の密接なこと (ハ)反目し合っていること
(ニ)苦しみに堪えるさま
40. 目から鼻へ抜ける (イ)すぐ到着する (ロ)すましこむ (ハ)ぐずぐずする (ニ)非常に賢い
41. 野分(ノワキ) (イ)野をわたるそよ風 (ロ)葉が風で動くこと (ハ)秋の末に吹く疾風 (ニ)草を分けて歩くこと
42. 風致(フウチ) (イ)風が通ること (ロ)趣のあること (ハ)緑の住宅地 (ニ)広い公園
43. 五風十雨(ゴフウジュウウ) (イ)気候の穏やかなこと (ロ)気候の不順であること (ハ)変わりやすい秋の気候
(ニ)強風を伴う豪雨
44. 雲散(ウンサン) (イ)漢方薬の一種 (ロ)雲が飛び走ること (ハ)すっかり晴れ上がること (ニ)ちりちりになること
45. 雲水(ウンスイ) (イ)旅をする人 (ロ)行脚の僧 (ハ)山水面 (ニ)雲の動き
46. 雲上人(ウンジョウウビト) (イ)天皇 (ロ)女官 (ハ)殿上人 (ニ)天の神
47. 星霜(セイソウ) (イ)としつき (ロ)白髪の間 (ハ)寒夜の星 (ニ)霜の降りる夜
48. 秋霜(シュウソウ) (イ)寂しいこと (ロ)厳しいこと (ハ)冷淡なこと (ニ)一徹なこと
49. 秋の空 (イ)秋は日が暮れやすいこと (ロ)爽やかなことのたとえ (ハ)ぼんやりすることのたとえ
(ニ)変わりやすいことのたとえ
50. ヴィオロン (イ)胡弓 (ロ)たて琴 (ハ)提琴 (ニ)手風琴
51. めかす (イ)おしゃれをする (ロ)とりすます (ハ)にこにこする (ニ)えらそうにする
52. 仙骨(センコツ) (イ)シャボテン (ロ)骸骨 (ハ)脱俗的な風采 (ニ)老人のがんこさ
53. 白鼠(シロネズミ) (イ)こそどろぼう (ロ)白髪頭の使用人 (ハ)悪事を働く使用人 (ニ)主家に忠実な使用人
54. 食い倒れ(クイダオレ) (イ)食い逃げすること (ロ)暴食して病気になること (ハ)うまい物を好むこと
(ニ)美食で財産をなくすこと
55. おやつ (イ)間食 (ロ)夜食 (ハ)菓子 (ニ)休憩
56. 伊達者(ダテシャ) (イ)ごてごてと着飾る人 (ロ)華美風流を好む人 (ハ)何事にも通じている人
(ニ)ひどく議論の好きな人
57. 慶庵(ケイアン) (イ)ブローカー (ロ)口入れ業 (ハ)たいこもち (ニ)詐欺を働く人
58. 悪事千里(アクジセンリ) (イ)犯罪者が高飛びすること (ロ)悪事を働くため遠くへ出かけること
(ハ)悪事はすぐ遠くまで知れること (ニ)悪事はなかなか知れないこと

59. 呉越同舟（ゴエツドウシュウ） (イ)仲の悪い者が一緒にいること (ロ)仲のよい者が一緒にいること (ハ)知らぬ者同士が一緒にいること (ニ)大勢の人が一緒にいること
60. 論語（ロンゴ）読みの論語知らず (イ)議論だけで実行が伴わないこと (ロ)真意がなかなかつかめないこと (ハ)文字は読めても内容がつかめないこと (ニ)書物の上の知識はあっても実行が伴わないこと
61. 比肩（ヒケン）する (イ)肩を並べる (ロ)肩を組む (ハ)肩を貸す (ニ)肩がおける
62. 肩身（カタミ） (イ)よりかかり (ロ)世間のうわさ (ハ)世間への面目 (ニ)強い虚栄心
63. 肩を入れる (イ)苦心する (ロ)熱中する (ハ)みかたする (ニ)持ち上げる
64. 手を焼く (イ)世話をする (ロ)親に反抗する (ハ)加勢をする (ニ)取扱いに困る
65. お手のもの (イ)好きなもの (ロ)得意なわざ (ハ)自分の持ち物 (ニ)相手の持ち物
66. 山の手（ヤマノテ） (イ)工場地帯 (ロ)商業地帯 (ハ)住宅地帯 (ニ)高台地帯
67. 指弾（シダン） (イ)指で玉をはじくこと (ロ)嫌悪し非難すること (ハ)人に命令を下すこと (ニ)人をやりこめること
68. 屈指（クッシ） (イ)人を呼び寄せること (ロ)ごくつまらないこと (ハ)すぐれていること (ニ)数をかぞえること
69. 骨抜き（ホネヌキ） (イ)極めてうすっぺらなこと (ロ)おもしろくないこと (ハ)ぶらぶらしていること (ニ)大事な所を取り去ること
70. しり馬 (イ)便乗すること (ロ)非常な大騒ぎ (ハ)追いかけること (ニ)はだか馬のこと
71. 羊腸（ヨウチュウ） (イ)ソーセージのこと (ロ)幾重にも屈曲するさま (ハ)道が長々と続くさま (ニ)のんびりとしているさま
72. すねかじり (イ)財産をつぶしてしまうこと (ロ)いろいろの手段で金をゆすること (ハ)費用の上で親の世話になること (ニ)見知らぬ他人の世話を受けること
73. 失脚（シツキヤク） (イ)政治上の失敗を犯すこと (ロ)全く歩けなくなること (ハ)腰を抜かすこと (ニ)要路の地位を失うこと
74. 足（アシ）まめ (イ)足に出来るまめ (ロ)歩行をいとわないこと (ハ)どこへでもでしゃばること (ニ)たいへんまじめなこと
75. 下足（ゲソク） (イ)粗末なこと (ロ)足袋のこと (ハ)脱いだ履物 (ニ)きたないこと
76. 馬脚（バキヤク）をあらわす (イ)化けの皮がはがれる (ロ)隠した秘密がばれる (ハ)世間のうわさになる (ニ)物笑いのたねになる
77. フットライト (イ)舞台 (ロ)正面 (ハ)脚光 (ニ)蹴球
78. 蛇足（ダソク） (イ)結論 (ロ)むだ口 (ハ)つまらぬもの (ニ)よけいなもの
79. 竜頭蛇尾（リュウトウダビ） (イ)何の音沙汰もないこと (ロ)初めは盛んで終りは振わないこと (ハ)いつまでたっても完成しないこと (ニ)看板と実際の品物と違うこと
80. 馬の耳に念仏（ネンブツ） (イ)少しも感じないで聞き流していること (ロ)どんな人であっても宗教心はあること (ハ)受け答えがとんちんかんなこと (ニ)理解がまったく出来ないこと
81. 元旦（ガンタン） (イ)毎月一日 (ロ)一月一日 (ハ)正月の三か日 (ニ)正月のこと
82. 小正月（コシヨウガツ） (イ)一月七日 (ロ)松の内 (ハ)一月十五日前後 (ニ)一月二十日
83. 筒井筒（ツツイツツ） (イ)井戸の水 (ロ)幼なじみ (ハ)親しい友 (ニ)振り分け髪
84. しにせ (イ)小さな店 (ロ)大きな店 (ハ)新しい店 (ニ)昔からの店
85. 吹替（フキカエ） (イ)代役 (ロ)女形 (ハ)子役 (ニ)しろうと
86. 三文文士（サンモンブンシ） (イ)大したねうちのない文士 (ロ)原稿料の安い文士 (ハ)新進気鋭の文士 (ニ)大もての流行作家
87. 天地無用 (イ)横がこいしかしてない (ロ)投げ出してはならない (ハ)ころがしてはならない (ニ)さかさにしてはならない

88. スペクタクル (イ)見せ物 (ロ)天然色映画 (ハ)記録映画 (ニ)芝居がかり
89. ぶる (イ)えらそうにする (ロ)おとなしくする (ハ)きどる (ニ)めかす
90. ねこばば (イ)拾い物をとりこむこと (ロ)へそくりをためること (ハ)しらを切り通すこと (ニ)ねこ
なで声でしゃべること
91. いかものぐい (イ)大食 (ロ)悪食 (アクジキ) (ハ)美食 (ニ)偏食
92. お手盛 (オテモリ) (イ)自分の都合のよいようにすること (ロ)人からのあてがいぶちで仕事をす
ること (ハ)いいかげんな計画で仕事をする (ニ)てのひらに食物を盛ること
93. かまとと (イ)まったく無知無学なこと (ロ)何も知らないような顔して上品ぶること (ハ)何事にで
もすぐでしゃべること (ニ)えらぶってにくまれ口をきくこと
94. 登竜門 (トウリュウモン) (イ)入学試験 (ロ)入社試験 (ハ)口答試験 (ニ)出世の関門
95. 飯場 (ハンバ) (イ)土木工事の現場 (ロ)土工の合宿所 (ハ)小さな料理屋 (ニ)大衆食堂
96. ノスタルジア (イ)悲哀 (ロ)感傷 (ハ)郷愁 (ニ)寂莫
97. 雁行 (ガンコウ) (イ)あとの者が先になること (ロ)大勢一緒に進むこと (ハ)ならんで進むこと
(ニ)人のあとから進むこと
98. うどの大木 (タイボク) (イ)大きいだけで役に立たないこと (ロ)からきし力がないこと (ハ)知恵が
まわりかねること (ニ)みかけ倒しでなかみのないこと
99. もちやはもち屋 (イ)まったくあたりまえのこと (ロ)何事も人まかせであること (ハ)物事にはそれ
ぞれ専門家があること (ニ)専門以外の事は何も知らないこと
100. 自家薬籠 (シカヤクロウ) 中の物 (イ)他人には秘密にしているもの (ロ)非常に大切にしているも
の (ハ)自分にとって利益になるもの (ニ)自分の思いのままになるもの

(No. 3)

1. 椋鳥 (ムクドリ) (イ)がんこ者 (ロ)そそっかしや (ハ)気取りや (ニ)いなか者
2. ねこかぶり (イ)ひどくおくびょうなこと (ロ)非常におとなしいこと (ハ)本性を包みかくすこと
(ニ)手ぬぐいのかぶりかた
3. ねこの目 (イ)あまえることのとえ (ロ)変わりやすいことのとえ (ハ)眠そうなほそい目のこと
(ニ)するどい目つきのこと
4. さくら (イ)馬肉のこと (ロ)ぶた肉のこと (ハ)牛肉のこと (ニ)とり肉のこと
5. たぬぎねいり (イ)眠ったふりをする (ロ)寝床で目をあけていること (ハ)からだをまるめて寝
ること (ニ)大の字になって寝ること
6. いたちの道 (イ)ふっとり交際のたえること (ロ)行方不明であること (ハ)来るとすぐ帰ってしまう
こと (ニ)しじゅう行き来すること
7. いたちごっこ (イ)人を追いかけて回すこと (ロ)一つ事を繰り返すこと (ハ)しつこくすること
(ニ)かくれんぼうのこと
8. きたぎりすずめ (イ)まるはだかであること (ロ)寒くてふるえていること (ハ)今着ている物しかな
いこと (ニ)極めてびんぼうなこと
9. つけうま (イ)重い荷をつけた馬 (ロ)代金を客について行って取り立てる人 (ハ)病人のつきそい
(ニ)旅の途中で道連れになった人
10. ねずみ算 (イ)かけ算 (ロ)暗算 (ハ)どしどし物がふえることのとえ (ニ)だんだん物がなくなるこ
とのたとえ
11. 黒ねずみ (イ)びしょぬれになること (ロ)どろまみれになること (ハ)主家に忠実につかえる番頭
(ニ)家の中の物をかすめとる者
12. さるのしり笑い (イ)うすら笑いをすること (ロ)笑いころげること (ハ)まっかな顔をして笑うこと
(ニ)自分を省みず他人を笑うこと

13. かけ (イ)鶏の古名 (ロ)うぐいすの古名 (ハ)からすの古名 (ニ)ふくろうの古名
14. ダーク・ホース (イ)あてうまのこと (ロ)中でも最も力の弱い者 (ハ)競争者の中で最も有力な者
(ニ)実力不明だが有力視される者
15. うなぎのぼり (イ)ゆっくり上昇すること (ロ)急激に上昇すること (ハ)まがりくねること (ニ)気持
がだらけること
16. ウナ電 (イ)短文の電報 (ロ)長文の電報 (ハ)至急電報 (ニ)普通電報
17. みてくれ (イ)実質 (ロ)かざりつけ (ハ)外装の図案 (ニ)外見
18. くわせもの (イ)たべもの (ロ)いかさま (ハ)拾いもの (ニ)正直者
19. おもたせ (イ)ごちそうになること (ロ)旅先からのみやげもの (ハ)来客が持ってきた贈り物 (ニ)人
に負担をかけること
20. 負けずぎらい (イ)勝負ごとをきらうこと (ロ)ひどく気の弱いこと (ハ)人を負かすのをいやがるこ
と (ニ)人に負けるのをいやがること
21. 紅一点(コウイッテン) (イ)大変配合のよい組み合わせ (ロ)多くの女の中の一番の美人 (ハ)多くの
男の中の一人の女 (ニ)くらやみの中の一つの光明
22. 赤本(アカホン) (イ)小説本 (ロ)低俗な本 (ハ)高価な本 (ニ)歌謡集
23. 赤札(アカフダ) (イ)売約済みの札 (ロ)汽車の切符 (ハ)特級品の札 (ニ)貨物の荷札
24. 赤手(セキシユ) (イ)あかぎれの手 (ロ)大きく強い手 (ハ)貧弱な手 (ニ)素手(スデ)
25. 朱(シュ)を入れる (イ)文句をつける (ロ)訂正加筆する (ハ)句読点をつける (ニ)悪にさそいこむ
26. 黄白(コウハク) (イ)金銭 (ロ)餅(モチ) (ハ)砂糖 (ニ)贈り物
27. ホワイト・カラー (イ)食堂の給仕 (ロ)貴族 (ハ)無職の人 (ニ)事務労働者
28. ブラック・リスト (イ)成績採点表 (ロ)有名人の表 (ハ)法意人物の表 (ニ)勤務評定の表
29. 黒木(クロキ) (イ)焼けこげた木 (ロ)皮つきの材木 (ハ)黒ぬりの木 (ニ)材質の堅い木
30. 緑林(リョクリン) (イ)盗賊 (ロ)松林 (ハ)公園 (ニ)軍人
31. 青雲の志(セイウンノココロザシ) (イ)旅にあこがれる気持 (ロ)都会に出たがる気持 (ハ)功名心
にもえること (ニ)復讐心をもやすこと
32. 丹青(タンセイ) (イ)緑青(ロクショウ) (ロ)まごころ (ハ)化粧 (ニ)絵画
33. 出藍(シュツラン) (イ)すぐれた学者になること (ロ)きわめてすぐれていること (ハ)出た元の物
よりまさること (ニ)低い身分から出世すること
34. 膝栗毛(ヒザクリゲ) (イ)無銭旅行 (ロ)騎馬旅行 (ハ)徒歩旅行 (ニ)馬の競走
35. 色(イロ)を失う (イ)あわてふためく (ロ)驚きおそれる (ハ)ぼんやりする (ニ)苦しみたおれる
36. 色眼鏡(イロメガネ) (イ)裏まで見通す観察 (ロ)こまかい観察 (ハ)とらわれた観察 (ニ)まちがっ
た観察
37. ヌーボー (イ)ひよろひよろしたさま (ロ)からだの大きなさま (ハ)少しも驚かないさま (ニ)とらえ
どころのないさま
38. 天神髭(テンジンヒゲ) (イ)黒々としたひげ (ロ)鼻下のチョビひげ (ハ)両端のはねあがったひげ
(ニ)両端のたれさがったひげ
39. ぬれ手で粟(アワ) (イ)ひどく大もうけをすること (ロ)骨折らないで利益をえること (ハ)ひとり
でに仕事が進むこと (ニ)仕事がなかなか成功しないこと
40. 糠に釘(ヌカニクギ) (イ)手ごたえのないことのととえ (ロ)案に出来ることのととえ (ハ)忠告を
聞かないことのととえ
41. 八方美人(ハツポウビジン) (イ)八等身の美人 (ロ)すばらしい美人 (ハ)だれからも好かれる人
(ニ)だれにもあいそのよい人
42. 十八番(ジュウハチバン) (イ)かくし芸 (ロ)おはこ (ハ)常套手段 (ニ)その人の専門

43. 十三里（ジュウサンリ） (イ)きんとんのこと (ロ)栗のこと (ハ)さつまいものこと (ニ)さといものこと
44. 一升買（イッショウガイ） (イ)まずしい暮し (ロ)大尽暮し (ハ)現金買い (ニ)大酒飲み
15. 八百長（ヤオチョウ） (イ)引きわけ勝負 (ロ)なれあいの勝負 (ハ)熱のはいらぬ勝負 (ニ)つばぜりあいの勝負
46. 三太夫（サンダユウ） (イ)おろかな人 (ロ)おさんどん (ハ)下男 (ニ)執事
47. 二本棒（ニホンボウ） (イ)妻にあまい夫 (ロ)暴君の夫 (ハ)好人物の夫 (ニ)しまりやの夫
48. 一石二鳥（イッセキニチョウ） (イ)ひどく欲ばりなこと (ロ)すばらしく多い利益 (ハ)一挙兩得であること (ニ)ふたまたかけて失敗すること
49. ななつ屋 (イ)質屋 (ロ)料理屋 (ハ)家主 (ニ)金貸
50. 一言居士（イチゲンゴジ） (イ)簡単なことしかしゃべれない人 (ロ)何事にも口を出したがる人 (ハ)とかく理屈っぽく言う人 (ニ)人の話をやじるのがうまい人
51. 四面楚歌（シメンソカ） (イ)まわりがみな敵であること (ロ)喜びの歌にかこまれること (ハ)あたりが大変賑やかなこと (ニ)料理屋がかたまっている地帯
52. ワンマン (イ)世の第一人者 (ロ)偉大な政治家 (ハ)内閣総理大臣 (ニ)独裁的に振舞う人
53. 二の足を踏む (イ)あしぶみする (ロ)中休みする (ハ)しりごみする (ニ)あきらめる
54. 九十九折（ツツラオリ） (イ)こまかく折ること (ロ)くねくね曲った坂道 (ハ)ひどく急傾斜の坂道 (ニ)段々になっている道
55. 千鳥足（チドリアシ） (イ)いそいで歩くこと (ロ)大またに歩くこと (ハ)ゆったり歩くこと (ニ)よろよろ歩くこと
56. 半畳（ハンジョウ）を入れる (イ)まぜかえす (ロ)悪く言う (ハ)ほめる (ニ)皮肉る
57. やしゃご (イ)孫 (ロ)孫の子 (ハ)孫の孫 (ニ)孫の孫の子
58. 国手（コクシュ） (イ)裁判官 (ロ)名医 (ハ)政治家 (ニ)大臣
59. 役者くずれ (イ)いなか回りの役者 (ロ)しろうとの役者 (ハ)役者を気どる人 (ニ)役者のなれのはて
60. 知らぬが仏（ホトケ） (イ)仏さまでもご存知のないこと (ロ)知らないので平気であること (ハ)知らないふりをすること (ニ)知らないのは仏さまばかり
61. 水魚（スイギョ）のまじわり (イ)ひどく水くさい仲 (ロ)むつまじい夫婦の仲 (ハ)ごくしたい交際 (ニ)通りいっぺんの交際
62. 水物（ミズモノ） (イ)非常にもうかると言われるもの (ロ)大変な損をされると言われるもの (ハ)成功の見込みはほとんどないもの (ニ)成功するか否かはあてにならぬもの
63. 水に流す (イ)過去のあやまちを追求する (ロ)過去のことをとやかく言わない (ハ)過去のことを少しも覚えていない (ニ)過去のあやまちを世間からかくす
64. 山鯨（ヤマクジラ） (イ)いのししの肉 (ロ)ぶたの肉 (ハ)馬の肉 (ニ)牛の肉
65. 山師（ヤマシ） (イ)いなか者 (ロ)詐欺師 (ハ)大金持 (ニ)ごろつき
66. 山が当る (イ)突然大金が手にはいる (ロ)計画がうまくとり運ぶ (ハ)自分の理想どおりになる (ニ)万一をねらってそうなる
67. みお (イ)潮の流れるみち (ロ)舟が通れる水路 (ハ)舟の通ったあと (ニ)あしの生えた岸辺
68. 開山（カイサン） (イ)登山季節の始まり (ロ)登山路を開いた人 (ハ)寺院を創建した僧 (ニ)鉱山を発見した人
69. 鉄管ビール (イ)なまビール (ロ)ひやしたビール (ハ)水道の水 (ニ)井戸の水
70. 温泉（オンセン） (イ)摂氏十五度以上のわき水 (ロ)二十五度以上のわき水 (ハ)四十度以上のわき水 (ニ)五十度以上のわき水
71. デルタ (イ)三角州 (ロ)川の出口 (ハ)運河 (ニ)砂地
72. 土足（ドソク） (イ)土運びの人足 (ロ)何もはかない足 (ハ)地下足袋 (ニ)土のついた履物

73. 湯桶読 (ユトウヨミ) (イ)漢字の熟語を上を訓で下を音で読む読み方 (ロ)上を音で下を訓で読む読み方 (ハ)上下とも音で読む読み方 (ニ)上下とも訓で読む読み方
74. 独壇場 (ドクダンジョウ) (イ)だれにもまけないこと (ロ)大変お得意なこと (ハ)ひとりじめすること (ニ)自分のひとりぶたい
75. ひとはだぬぐ (イ)着物を貸す (ロ)金を貸す (ハ)助力する (ニ)後見する
76. たてひく (イ)泣き寝入りする (ロ)強く反抗する (ハ)いばりちらす (ニ)意地を張り合う
77. お茶の子 (イ)きまりきったこと (ロ)容易に出来ること (ハ)きわめて平凡なこと (ニ)大変おかしなこと
78. 華燭 (カショク) (イ)婚礼 (ロ)金婚式 (ハ)還暦 (ニ)誕生日
79. どろなわ (イ)どろまみれになったなわ (ロ)もう間に合わないこと (ハ)事が起ってから用意すること (ニ)事が終って後悔すること
80. どろぼうに追銭 (オイセン) (イ)猫にかつぶしのこと (ロ)思いやりの深いこと (ハ)恥の上ぬりのこと (ニ)損の上ぬりのこと
81. 光陰 (コウイン) (イ)光の速度 (ロ)物かげ (ハ)範囲 (ニ)月日
82. 裏書 (ウラガキ) する (イ)指名する (ロ)保証する (ハ)再現する (ニ)確言する
83. 犬死 (イヌジニ) (イ)即死 (ロ)行きだおれ (ハ)むだじに (ニ)狂いじに
84. 江湖 (コウコ) (イ)世間 (ロ)俗人 (ハ)読者 (ニ)識者
85. 自画自賛 (ジガジサン) (イ)自分の事をみずからほめること (ロ)自分の事は何でも自分ですること (ハ)自分の事はたなに上げること (ニ)自分の書いた絵に名前を入れること
86. 尤物 (ユウブツ) (イ)こわれたもの (ロ)つまらないもの (ハ)すぐれたもの (ニ)掘り出しもの
87. 丸公 (マルコウ) (イ)まるもうけ (ロ)公費の旅行 (ハ)仕入れ価格 (ニ)公定価格
88. 水に油 (イ)いずれも液体で同じであること (ロ)いつもきちんとわかれていること (ハ)話がおたがいにくいちがうこと (ニ)おたがいに性 (ショウ) が合わないこと
89. 油を売る (イ)よどむことなくおしゃべりを続ける (ロ)用事の途中でなまけて時間をつぶす (ハ)用事以外の余計な事をしておこられる (ニ)よその家に行って悪口を言いふらす
90. 唐様 (カラヨウ) (イ)中国風 (ロ)唐草模様 (ハ)精巧なこと (ニ)粗末なこと
91. 本命 (ホンメイ) (イ)非常に大切な命令 (ロ)人間の寿命のこと (ハ)一番根本のはたらき (ニ)優勝と目されるもの
92. 袖の下 (ソデノシタ) (イ)わいろ (ロ)贈り物 (ハ)金銭 (ニ)チップ
93. 袖にする (イ)大切にあつかう (ロ)ないがしろにする (ハ)毛ざらいをする (ニ)かばいだてをする
94. 袖乞 (ソデゴイ) (イ)哀訴 (ロ)いのちごい (ハ)ものもらい (ニ)募金
95. 襟 (エリ) に付く (イ)おもねる (ロ)ごまかす (ハ)味方する (ニ)おしゃれする
96. 袂 (タモト) をわかす (イ)伸よくする (ロ)人と別れる (ハ)口論をする (ニ)死に別れる
97. スポークスマン (イ)大演説家 (ロ)弁護人 (ハ)代弁者 (ニ)代理人
98. 令室 (レイシツ) (イ)他家のへやを呼ぶ敬称 (ロ)人の妻を呼ぶ敬称 (ハ)人の娘を呼ぶ敬称 (ニ)指揮命令を下す所
99. 事大主義 (シダイシュギ) (イ)物事を安易には考えない主義 (ロ)自分の事を特に大事にする主義 (ハ)勢力の強いものにつき従う主義 (ニ)内容よりも形式を重んずる主義
100. 侃侃諤諤 (カンカンガクガク) (イ)やかましく言いたてること (ロ)自分勝手に物を言うこと (ハ)遠慮せずに直言すること (ニ)はてしなく言いつること

(No. 4)

1. 泰斗 (タイト) (イ)中心人物 (ロ)大家 (ハ)指揮者 (ニ)代弁者
2. 九寸五分 (クスンゴブ) (イ)短刀 (ロ)鎌 (カマ) (ハ)やりの穂 (ニ)かね尺の一尺

3. 山氣(ヤマケ) (イ)降り出しそうなのはいい (ロ)山の清らかなのはいい (ハ)登山を好む心 (ニ)投機を好む心
4. 布衣(ホイ) (イ)乞食 (ロ)僧侶 (ハ)庶民 (ニ)ほてい
5. 二千石(ニセンゴク) (イ)地方長官 (ロ)大臣 (ハ)村役人 (ニ)旗本(ハタモト)
6. 庭訓(テイキン) (イ)庭園の作りかた (ロ)家庭での教え (ハ)遊びごとの規約 (ニ)公園の規則
7. コミュニケ (イ)外交官 (ロ)声明書 (ハ)宣伝文 (ニ)通信文
8. パトロン (イ)貴族 (ロ)男爵 (ハ)後援者 (ニ)資産家
9. 亡命(ボウメイ) (イ)生命をうしなうこと (ロ)政治家が失脚すること (ハ)身を隠してしまうこと (ニ)他国へ逃げのびること
10. アド (イ)広告 (ロ)忠告 (ハ)風船 (ニ)看板
11. ぬか雨 (イ)にわか雨 (ロ)どしゃぶり (ハ)こまかい雨 (ニ)しぐれ
12. 法語(ホウゴ) (イ)仏教の教義を説いたもの (ロ)仏教の戒律を示した言葉 (ハ)仏教で使われる単語 (ニ)法律で使われる単語
13. 針小棒大(シンショウボウダイ) (イ)物事をとかく混同すること (ロ)小事が大事に発展すること (ハ)物事を大げさに言うこと (ニ)物事を過小視すること
14. かて (イ)うるおい (ロ)食べ物 (ハ)供え物 (ニ)不動産
15. 資源回収員(シゲンカイシュウイン) (イ)炭鉱夫 (ロ)漁師 (ハ)掃除夫 (ニ)くず屋
16. 二階から目薬(メクスリ) (イ)まわりくどいことのたとえ (ロ)不可能なことのたとえ (ハ)知恵のないことのたとえ (ニ)役に立たないことのたとえ
17. おしゃか (イ)完成した品 (ロ)作りかけの品 (ハ)不良の品 (ニ)よごれた品
18. お茶をにごす (イ)その場をまるくおさめる (ロ)その場をいいかげんにごまかす (ハ)その場をこっそり逃げ出す (ニ)何かにつけておいてさいをかざる
19. 馬が合う (イ)ぴったり出あう (ロ)あそび相手になる (ハ)趣味が同じである (ニ)ぴったり気が合う
20. 紺屋の白袴(コンヤノシラバカマ) (イ)他人の悪口を言いふらして知らぬ顔をしていること (ロ)他人の批評ばかりして自分の事はたなに上げること (ハ)他人の事は無視して自分の事ばかり考えること (ニ)他人の世話ばかりして自分の事は顧みないこと
21. 莫大小 (イ)非常に多いこと (ロ)ちぢまないこと (ハ)つぶざろい (ニ)メリヤス
22. 左(ヒダリ)うちわ (イ)安楽にくらすこと (ロ)ぼんやりくらすこと (ハ)商売がさびれること (ニ)家産がかたむくこと
23. 月並(ツキナミ) (イ)しゃれていること (ロ)すぐれていること (ハ)ありきたりのこと (ニ)そろそろらしいこと
24. 半風子(ハンブウシ) (イ)風鈴 (ロ)しらみ (ハ)のみ (ニ)すだれ
25. ベデカ (イ)旅行案内書 (ロ)観光地図 (ハ)会話教科書 (ニ)列車時刻表
26. どさまわり (イ)下っぱの刑事 (ロ)盛り場に巣食う不良 (ハ)地方回りの劇団 (ニ)小芝居に出る劇団
27. 雲助(クモスケ) (イ)まぬけなどろぼう (ロ)人をだますベテン師 (ハ)住所不定のかごかき (ニ)盛り場にいるこじぎ
28. 馬手(メテ) (イ)左手 (ロ)右手 (ハ)両手 (ニ)片手
29. 小笠原流(オガサワラリュウ) (イ)作法の流儀 (ロ)華道の流儀 (ハ)茶道の流儀 (ニ)柔道の流儀
30. ふりの客 (イ)時々来る客 (ロ)久しぶりの客 (ハ)なじみでない客 (ニ)いつも見える客
31. サスペンス (イ)気品 (ロ)情緒 (ハ)冒険 (ニ)不安
32. リンク (イ)ゴルフ場 (ロ)スケート場 (ハ)拳闘競技場 (ニ)指輪のこと
33. 巷説(コウセツ) (イ)人をまどわす説 (ロ)耳あたらしい説 (ハ)世に知られた説 (ニ)世間のうわさ
34. 折紙付(オリガミツキ) (イ)謝礼金 (ロ)のしがみ (ハ)懸賞つき (ニ)保証つき
35. コネ (イ)縁故 (ロ)学閥 (ハ)通信 (ニ)契約

36. 大黒柱(ダイコクバシラ) (イ)一家・団体の長をつとめる人物 (ロ)一家・団体の支えとなっている人物 (ハ)くるくると忠実に働きまわる人物 (ニ)大きな寺院の住職の妻君
37. 大御所(オオゴシヨ) (イ)その社会で大勢力を有する人 (ロ)その社会で世話役をつとめる人 (ハ)かげであやつっている実力者 (ニ)隠居して第一線を退いた人
38. 大向う(オオムコウ) (イ)劇の評論家 (ロ)舞台の正面 (ハ)芝居の見見席 (ニ)芝居の一等席
39. 磊落(ライラク) (イ)非常に喜んでいるさま (ロ)小事にこだわらぬさま (ハ)ひどく無神経なさま (ニ)のろのろしているさま
40. ごまめの歯ぎしり (イ)困難なことにたえる苦しみのたとえ (ロ)何としても力の及ばないことのたとえ (ハ)力の及ばない者が憤慨することのたとえ (ニ)力の及ばない者が努力することのたとえ
41. 秋波(シュウハ) (イ)おべっか (ロ)やぶにらみ (ハ)ふしめ (ニ)いろめ
42. 秋水(シュウスイ) (イ)長い刀 (ロ)よく切れる刀 (ハ)なまくらの刀 (ニ)竹で作った刀
43. おもわく (イ)疑惑 (ロ)批評 (ハ)考え (ニ)注文
44. 一見(イチゲン) (イ)ふらりと立ち寄ること (ロ)それが初めての対面 (ハ)前に一度対面したこと (ニ)横目で通り過ぎること
45. 寸劇(スンゲキ) (イ)短い演劇 (ロ)アトラクション (ハ)子供芝居 (ニ)一口ばなし
46. あわを吹かす (イ)失敗させる (ロ)おどろかす (ハ)よわらせる (ニ)やつつける
47. 海千山千(ウミセンヤマセン) (イ)大変ごまかしのうまい者 (ロ)古い考えを強く守る者 (ハ)経験をつんだしたたか者 (ニ)言うことをきかない強情者
48. 尚齒(ショウシ) (イ)むし歯 (ロ)入れ歯 (ハ)高齢 (ニ)敬老
49. 大番(オオバン) (イ)大番頭の略 (ロ)ふとっていること (ハ)大きなあたま (ニ)大きなサイズ
50. シノニム (イ)反義語 (ロ)同義語 (ハ)多義語 (ニ)一義語
51. スタンド・プレイ (イ)観客の喝采をあびる大演技 (ロ)観客席ではでな応援ぶり (ハ)観客めあてのはでな動作 (ニ)立ち上がって歌い出すこと
52. 漏刻(ロウコク) (イ)水時計 (ロ)砂時計 (ハ)雨だれ (ニ)月日(ツキヒ)
53. もやい (イ)共同ですること (ロ)兄弟ですること (ハ)話し合いですること (ニ)手をつないで歩くこと
54. ところてん (イ)冷淡なことのたとえ (ロ)たよりないことのたとえ (ハ)すらすら通ることのたとえ (ニ)押し出されることのたとえ
55. 太公望(タイコウボウ) (イ)総理大臣 (ロ)釣を眺める人 (ハ)釣を楽しむ人 (ニ)専門の漁師
56. パイロット (イ)航空機の操縦者 (ロ)ステュワデス (ハ)商船の船長 (ニ)船の機関士
57. アンケート (イ)返信用葉書 (ロ)葉書回答 (ハ)短い随筆 (ニ)短い批評
58. しのぎを削る (イ)大いに苦心する (ロ)一所懸命に働く (ハ)ゆったりと構える (ニ)はげしくあらそう
59. 平仄(ヒョウソク)が合わない (イ)つじつまが合わない (ロ)時刻にまに合わない (ハ)行動が言葉とちがう (ニ)全く見当がつかない
60. 漁夫(ギョフ)の利 (イ)よくばり過ぎて僅かな利益しか得ないこと (ロ)争っているすぎに第三者が利益を得ること (ハ)自分の手は下さないで大きなもうけをすること (ニ)思いがけなく一時に大金をもうけること
61. 日常茶飯事(ニチジョウサハンジ) (イ)うまくない食事 (ロ)家庭的な事柄 (ハ)ありふれた事柄 (ニ)くだらない事件
62. ポーカー・フェース (イ)ぼんやりした顔 (ロ)表情を表わさない顔 (ハ)実にくらしい顔 (ニ)たいへん鈍重な顔
63. ハム (イ)私設電話の交換手 (ロ)船の通信士 (ハ)放送局の技師 (ニ)アマチュア無線家
64. 先祖(センゾ)がえり (イ)隔世遺伝 (ロ)若がえり (ハ)還暦のこと (ニ)先祖の祭
65. 馬車馬(バシャウマ) (イ)のんびりと行動するたとえ (ロ)物事をひたむきにすること (ハ)あちらこちらを飛び回る (ニ)楽しみをかえりみないこと

66. 竹光（タケミツ） (イ)刀作りの名 (ロ)竹製のへら (ハ)なまくら刀 (ニ)よく切れる刀
67. 左前（ヒダリマエ） (イ)家運のかたむくこと (ロ)急に逆転すること (ハ)横道にそれること (ニ)暮しが楽になること
68. おすそわけ (イ)物を等分に分け与えること (ロ)人に贈り物をする事 (ハ)もらい物を他に分けること (ニ)贈り物を受け取ること
69. 二つ返事（フタツヘンシ） (イ)重ね返事のこと (ロ)即座に承諾すること (ハ)しぶしぶ承諾すること (ニ)非常に喜び勇むこと
70. 口銭（コウセン） (イ)あぶくぜに (ロ)僅かなおかね (ハ)おさいせん (ニ)コミッション
71. バイヤー (イ)買い付け係 (ロ)売り込み係 (ハ)大貿易家 (ニ)外国の特派員
72. ト書（トガキ） (イ)芝居のすじ書き (ロ)役者のするしぐさ (ハ)しぐさを書き示したもの (ニ)手紙の後に付ける文章
73. 老婆心（ロウバシン） (イ)よけいな親切心 (ロ)くよくよ気にすること (ハ)古い先をはかなむこと (ニ)神仏への信仰心
74. 流連（リュウレン） (イ)酔いつぶれ (ロ)いつづけ (ハ)質ながれ (ニ)水が出ること
75. 骸骨（ガイコツ）を乞う (イ)許しをねがう (ロ)詫びを言う (ハ)停年退職する (ニ)辞職をねがう
76. 黄口児（コウコウジ） (イ)生まれたての赤ん坊 (ロ)年若い者 (ハ)生意気な者 (ニ)聞きわけのない者
77. セクシヨナリズム (イ)なわばり根性 (ロ)島国根性 (ハ)形式主義 (ニ)きちようめん
78. ベッド・ハウス (イ)保養所 (ロ)自宅 (ハ)旅館 (ニ)簡易宿泊所
79. もどき (イ)種類の違っていること (ロ)同じ種類であること (ハ)ある物に似ていること (ニ)親しい関係にあること
80. 汗牛充棟（カンギョウジュウトウ） (イ)苦心して家を建てること (ロ)ぎっしりつまった米ぐら (ハ)収穫の非常に多いこと (ニ)蔵書の非常に多いこと
81. 破天荒（ハテンコウ） (イ)すごい暴風雨 (ロ)前代未聞のこと (ハ)世間を騒がすこと (ニ)凡人に出来ないこと
82. たかねの花 (イ)非常に美しい女性 (ロ)自分の理想とするもの (ハ)自分に全然縁のないもの (ニ)自分の手の届かないもの
83. スポンサー (イ)資本家 (ロ)指導者 (ハ)演出者 (ニ)広告主
84. ファイア・マン (イ)消防士 (ロ)放火犯 (ハ)活動家 (ニ)激情家
85. 二枚舌（ニマイシタ） (イ)一つ事を二様に言うこと (ロ)うまく言いくるめること (ハ)話術が巧みなこと (ニ)言葉の裏をさぐること
86. 文盲（モンモウ） (イ)目の見えない者 (ロ)色が識別出来ない者 (ハ)字の読めない者 (ニ)学問の未熟な者
87. 腰弁（コシベン） (イ)手伝いの職人 (ロ)薄給の勤め人 (ハ)腰の低い商人 (ニ)腰抜け侍
88. 自弁（ジベン） (イ)弁当を持参すること (ロ)自分で費用を持つこと (ハ)自分で何でもすること (ニ)損害を弁償すること
89. きじるし (イ)奇癖を持つ人 (ロ)気転のきく人 (ハ)奇妙な風采の人 (ニ)気の違った人
90. 拍子（ヒョウシ）抜け (イ)ちぐはぐになること (ロ)ぼんやりしてしまうこと (ハ)はりあいのぬけること (ニ)うでの力がぬけること
91. 横車（ヨコグルマ）を押す (イ)無理を通す (ロ)強く反対する (ハ)側から口を出す (ニ)高圧的に出る
92. 総花（ソウバナ） (イ)花が一斉に満開すること (ロ)室を飾り付けること (ハ)一同に利益を与えること (ニ)みんなで芝居を見ること
93. 殺陣（タテ） (イ)とんぼがえり (ロ)立ちまわり (ハ)人殺しの場面 (ニ)必殺の戦法
94. デート (イ)散歩 (ロ)遊び (ハ)旅行 (ニ)あいびき

95. 建材(ケンザイ) (イ)煉瓦 (ロ)建築用の材木 (ハ)建築用の材料 (ニ)コンクリート
96. 華僑(カキョウ) (イ)海外居留の中国商人 (ロ)海外留学の中国人 (ハ)海外駐在の中国外交官
(ニ)外国貿易に従う中国人
97. 端境期(ハザカイキ) (イ)二月・八月の物の売れない時期 (ロ)老年にはいろいろとする時期 (ハ)新米が出回ろうとする時期 (ニ)年末から新年にかけての時期
98. 沽券(コケン)にかかわる (イ)前言にこだわる (ロ)面子にこだわる (ハ)生命に関する (ニ)体面に関する
99. 荒唐(コウトウ) (イ)おおざっぱなこと (ロ)とりとめのないこと (ハ)あらあらしいこと (ニ)ささんでいること
100. ぐれはま (イ)仲間からはぐれること (ロ)横道にぐれてしまうこと (ハ)物事の明らかでないこと (ニ)物事のくいちがうこと

(No. 5)

1. 温室(オンシツ) 育ち (イ)からだの大きな人 (ロ)大変気立てのよい人 (ハ)のんびり育った人
(ニ)ひよろひよろした人
2. 毛並(ケナミ) がよい (イ)頭がよい (ロ)素性がよい (ハ)上品である (ニ)美人である
3. 指南(シナン) (イ)教えること (ロ)学ぶこと (ハ)調査すること (ニ)告知すること
4. 東道(トウドウ) (イ)指導役 (ロ)主人役 (ハ)引率係 (ニ)教育係
5. 火の車 (イ)家庭が不和であること (ロ)少しも落ち着かないこと (ハ)毎日ひどくせわしいこと
(ニ)ひどく生活が苦しいこと
6. スラム (イ)家屋の密集した所 (ロ)住宅地 (ハ)貧民窟 (ニ)浮浪者の多い所
7. 急先鋒(キュウセンボウ) (イ)まっさきに進む人 (ロ)進歩的な考えの人 (ハ)最も強硬な人 (ニ)最も努力する人
8. 独白(ドクハク) (イ)ひとりで芝居をすること (ロ)ひとりごと形式のせりふ (ハ)身の上話をする
こと (ニ)自分勝手にしゃべること
9. 猶子(ユウシ) (イ)長子 (ロ)末子 (ハ)養子 (ニ)まご
10. 氷室(ヒムロ) (イ)氷を食べさせる店 (ロ)冷房をそなえたへや (ハ)氷りついたほら穴 (ニ)氷をたくわえるむろ
11. 連座(レンザ) (イ)共同謀議 (ロ)係累 (ハ)まきぞえ (ニ)証人
12. リベート (イ)そでの下 (ロ)コミッション (ハ)割りもどし (ニ)謝礼の金
13. セールスマン (イ)会社員 (ロ)押し売り (ハ)保険勧誘員 (ニ)売り込み人
14. 隠田(オンデン) (イ)かくし田 (ロ)山かげの田 (ハ)谷あいの田 (ニ)収穫の少ない田
15. 逸話(イツワ) (イ)大変興味のある話 (ロ)ユーモアのある話 (ハ)世に知られない話 (ニ)世に伝承された話
16. プロデューサー (イ)演技者 (ロ)番組提供者 (ハ)舞台装置家 (ニ)演出者
17. 挽歌(バンカ) (イ)木挽きの歌 (ロ)死を悲しむ歌 (ハ)恋の喜びの歌 (ニ)あわれな歌
18. 他力本願(タリキホンガン) (イ)相手の力の弱のを待つこと (ロ)相手の力で動かされること
(ハ)他の人の影響を受けること (ニ)他の人の力を頼みとすること
19. 火中(カチュウ)の栗(クリ)を拾う (イ)進んで危険なことをする (ロ)利益になる事は何でもする
(ハ)いち早く利益を独占する (ニ)他人のおせっかいをする
20. 敵本主義(テキホンシュギ) (イ)当面の敵をたたくことを主とするやりかた (ロ)真の目的は隠して見せかけの行動をするやりかた (ハ)相手の考える所を基本として尊重するやりかた (ニ)相手を敵視してあくまでもやっつけようとする考え
21. 月旦(ゲッタン) (イ)正月元旦 (ロ)うわさ話 (ハ)文芸時評 (ニ)人物批評

22. ホステス (イ)女の案内人 (ロ)女の給仕 (ハ)女主人役 (ニ)介添の女
23. 百年目 (ヒャクネンメ) (イ)最後の日 (ロ)臨終の時 (ハ)苦しい時 (ニ)まき直し
24. 書き入れ時 (イ)最も人が出さかる時 (ロ)最も利益のあがる時 (ハ)商売がのぼり坂の時 (ニ)商売がひまで困る時
25. ターミナル (イ)交通機関の発着点 (ロ)郊外にある盛り場 (ハ)都心にある盛り場 (ニ)立体交差の道路
26. 朴念仁 (ボクネンジン) (イ)そそっかしい人 (ロ)物のわからない人 (ハ)すれていない人 (ニ)どっしりした人
27. 定年 (テイネン) (イ)おとなになる年 (ロ)平均死亡年齢 (ハ)退職の年齢 (ニ)満六十歳
28. 年男 (トシオトコ) (イ)その年生まれた男の子 (ロ)翌年続いて生まれた子 (ハ)芸能界で人気のある男 (ニ)節分に豆まきをする男
29. すてぜりふ (イ)皮肉たっぷりの言葉 (ロ)立ち去る時言う言葉 (ハ)人をこぼかにした言葉 (ニ)人をののしる時の言葉
30. ごまをする (イ)うそをつく (ロ)あいそよくする (ハ)おもねる (ニ)たてつく
31. いかさま (イ)悪党 (ロ)うそつき (ハ)いんちき (ニ)きちがい
32. 獬官 (リョウカン) (イ)官職を得ようとして競争すること (ロ)大臣になろうとして競争すること (ハ)獬犬や鷹などを扱う役目のもの (ニ)狩猟をつかさどる役目のもの
33. 腰 (コシ) だめ (イ)腰を落ち着けて事をする (ロ)でたらめなやり方で事をする (ハ)はっきりした見込みで事をする (ニ)大づかみな見込みで事をする
34. 日和見 (ヒヨリミ) 主義 (イ)御都合主義 (ロ)人まかせ主義 (ハ)簡便主義 (ニ)合理主義
35. 間道 (カンドウ) (イ)おどおり (ロ)ぬけみち (ハ)あぜみち (ニ)ふくろ小路
36. エスブリ (イ)感情 (ロ)機知 (ハ)滑稽 (ニ)哀愁
37. テンプラ (イ)中身が充実していないもの (ロ)中身が充実してりっぱなもの (ハ)うわべだけりっぱなもの (ニ)ごくうすっぱなもの
38. データ (イ)記録 (ロ)資料 (ハ)文書 (ニ)意見
39. 下馬評 (ゲバヒョウ) (イ)世間の評判 (ロ)政界の評判 (ハ)根拠のない批評 (ニ)馬のしなさだめ
40. 器用貧乏 (キョウビンボウ) (イ)器用なために金を使いすぎること (ロ)器用なだけでは金持になれないこと (ハ)器用なだけで金もうけの道を知らないこと (ニ)器用なためにかえっていい目にあわないこと
41. 殿様芸 (トノサマゲイ) (イ)きらびやかな芸 (ロ)大変大がかりな芸 (ハ)なぐさみにする芸 (ニ)おもしろくない芸
42. ゴシップ (イ)おとぎ話 (ロ)うわさ話 (ハ)秘密の行為 (ニ)はでな行為
43. ブーム (イ)しんけんな運動 (ロ)計画的な行動 (ハ)熱狂的な信仰 (ニ)熱狂的な景気
44. 思わせぶり (イ)意中をそれとなしに示すこと (ロ)うわべだけを飾り立てること (ハ)はっきりした考えを示さないこと (ニ)内心の苦しみをおしかくすること
45. 深更 (シンコウ) (イ)手厚いこと (ロ)非常な親切 (ハ)深い交際 (ニ)夜ふけ
46. はっぱをかける (イ)気合いを入れて督励する (ロ)気合いを入れて仕事をする (ハ)むりやり仕事をさせる (ニ)おどかして仕事をさせる
47. 石頭 (イシアタマ) (イ)きんちゃく頭の人 (ロ)融通のきかない人 (ハ)頭の働きのにぶい人 (ニ)おでこの出ている人
48. あしがつく (イ)人目からのがれられない (ロ)多勢の人の目に触れる (ハ)逃亡者の足どりがわかる (ニ)犯罪の全体の姿がわかる
49. しらを切る (イ)知らんふりをする (ロ)退屈なようすをする (ハ)冷淡なようすをする (ニ)すましこんでいる
50. ベン・クラブ (イ)文筆家の集まり (ロ)小説家の集まり (ハ)随筆家の集まり (ニ)詩人の集まり

51. ユース・ホテル (イ)観光旅館 (ロ)ハイカー用宿泊所 (ハ)青年の合宿所 (ニ)高級旅館
52. クレーム (イ)求償 (ロ)要請 (ハ)注文 (ニ)処罰
53. 商議 (ショウギ) (イ)商談 (ロ)かけひき (ハ)外交交渉 (ニ)相談
54. 生馬 (イクウマ) の目を抜く (イ)ごまかしのうまいさま (ロ)すぐくすばやいさま (ハ)きわめて乱暴なさま (ニ)ずうずうしいさま
55. 敷居 (シキイ) が高い (イ)説教されるのでたずねたくない (ロ)気ぐらいの高い家のでたずねにくい (ハ)不義理などでその家に行きにくい (ニ)小心なので目ざす家に行きにくい
56. 刀圭家 (トウケイカ) (イ)武芸家 (ロ)医者 (ハ)刀鍛冶 (ニ)刀の収集家
57. 水のあわ (イ)むだになること (ロ)冷淡になること (ハ)取消しになること (ニ)忘れ去ること
58. うちまた膏薬 (コウヤク) (イ)おどおどしている者 (ロ)おべっかを使う者 (ハ)定見節操のない者 (ニ)真剣味の足りぬ者
59. 合点 (ガッテン) (イ)満足すること (ロ)明確なこと (ハ)道理なこと (ニ)承知すること
60. 羊頭狗肉 (ヨウトウクニク) (イ)中国の昔の肉屋の標識 (ロ)頭が羊でからだは犬の形をしたもの (ハ)見えすいたうそを平気で言うこと (ニ)見かけだけで実質の件わないもの
61. 白眉 (ハクビ) (イ)景色がきわめてよい所 (ロ)容姿がこの上なくよい人 (ハ)最も傑出しているもの (ニ)この上なく徳の高い僧
62. ひとり相撲 (ズモウ) (イ)人を人と思わぬわがままぶり (ロ)ひとりのみこみをする事 (ハ)ひとりで万事切り回していること (ニ)自分だけで勢いこんでいること
63. なわばり (イ)財産 (ロ)勢力範囲 (ハ)つきあい (ニ)地位
64. アクロバット (イ)騎手 (ロ)道化師 (ハ)曲芸師 (ニ)手品師
65. 蒲柳 (ホリュウ) (イ)体質のよわいこと (ロ)態度の上品なこと (ハ)気立てのやさしいこと (ニ)性格の優柔不断なこと
66. 猫舌 (ネコジタ) (イ)なまぐさものの好きなこと (ロ)熱いものの食べられないこと (ハ)冷たいものの食べられないこと (ニ)物の味のよくわからないこと
67. キャンセル (イ)注文 (ロ)苦情 (ハ)解約 (ニ)抗議
68. キャッシュ (イ)現金 (ロ)硬貨 (ハ)紙幣 (ニ)小切手
69. 焼きがまわる (イ)はりきる (ロ)元気になる (ハ)病気になる (ニ)ぼける
70. ぐだを巻く (酒に酔って) (イ)あくどいふざけかたをする (ロ)とりとめのないことを言う (ハ)むやみに歌を歌う (ニ)しくしく泣く
71. 無頼 (ブライ) の徒 (イ)身寄りのない人たち (ロ)仕事にあぶれた人たち (ハ)職を持たないならずもの (ニ)悪事を多く重ねた犯罪者
72. 黄泉 (コウセン) (イ)硫黄泉 (ロ)死後の世界 (ハ)にごった水 (ニ)飲み水
73. あこぎ (イ)ずるいこと (ロ)きびしいこと (ハ)窮屈なこと (ニ)貪欲なこと
74. 莫逆 (バクギャク) (イ)極めて仲のよい関係 (ロ)極めて仲の悪い関係 (ハ)子供の時からの関係 (ニ)君主に不忠な臣下
75. 立役 (タチヤク) (イ)敵役 (ロ)端役 (ハヤク) (ハ)男役 (ニ)女形
76. ティーン・エイジャー (イ)十歳から十九歳までの人 (ロ)十一歳から十九歳までの人 (ハ)十二歳から十九歳までの人 (ニ)十三歳から十九歳までの人
77. 候鳥 (コウチュウ) (イ)うぐいす (ロ)わたり鳥 (ハ)春を告げる鳥 (ニ)つばめ
78. 舶来品 (ハクライヒン) (イ)外国製品 (ロ)高級品 (ハ)服飾品 (ニ)紳士用品
79. 白羽 (シラハ) の矢を立てる (イ)犯人の目ぼしをつける (ロ)これぞと思う人を選ぶ (ハ)身代わりの人を選ぶ (ニ)矢じるしをつける
80. 他人丼 (タニンドンブリ) (イ)よその家で食べる食物 (ロ)いろいろとりまぜた食物 (ハ)鶏肉とたまごのどんぶり (ニ)牛肉とたまごのどんぶり

81. デラックス (イ)大型 (ロ)豪華 (ハ)精巧 (ニ)高価
82. 舌足らず (シタタラズ) (イ)味覚が発達していないこと (ロ)おしゃべりではないこと (ハ)言葉がすらすら出ないこと (ニ)言葉の表現が不十分なこと
83. 虫の知らせ (イ)何となく心に感じる事 (ロ)かすかに聞えて来る事 (ハ)遠くから伝わって来る事 (ニ)初めから予想していたこと
84. ごへいかつぎ (イ)物事を大げさに言うこと (ロ)くよくよと心配すること (ハ)極度に神経質なこと (ニ)えんぎを気にすること
85. げてもの (イ)こわれやすい器物 (ロ)ひどく粗末な器物 (ハ)大衆的な質朴な器物 (ニ)芸術的にすぐれた器物
86. ブランク (イ)飛躍 (ロ)空白 (ハ)無知 (ニ)損失
87. プロフィール (イ)内幕 (ロ)大写真 (ハ)正面像 (ニ)横顔
88. 片鱗 (ヘンリン) (イ)一部分 (ロ)片面 (カタメン) (ハ)おもかげ (ニ)全容
89. 大乘的 (ダイジョウテキ) (イ)もっぱら大局のために考える (ロ)物事をごく大ざっぱに考える (ハ)清濁あわせ飲む態度である (ニ)形式的で消極的な態度である
90. 白波 (シラナミ) (イ)女のすり (ロ)波浪者 (ハ)どろぼう (ニ)ぼらふぎ
91. 風来坊 (フウライボウ) (イ)世間をうまく渡り歩いて来た人 (ロ)小事には少しも拘泥しない人 (ハ)身なりを少しもかまわない人 (ニ)どこからともなくやって来た人
92. おたなもの (イ)商店で売る品物 (ロ)商店に勤める人 (ハ)あいそのよい人 (ニ)ぬけめのない人
93. 八木 (ハチボク) (イ)豆 (ロ)麦 (ハ)そば (ニ)米
94. 便衣 (ベンイ) (イ)ぼろの着物 (ロ)ふだんの着物 (ハ)よそゆきの着物 (ニ)正式の武装
95. カーニバル (イ)のどじまん (ロ)仮装舞踏会 (ハ)お祭り騒ぎ (ニ)長い行列
96. 牛耳 (ギョウジ)をとる (イ)仲間を集める (ロ)煽動する (ハ)首領となる (ニ)誘惑する
97. 而立 (シリツ) (イ)二十歳の異称 (ロ)三十歳の異称 (ハ)四十歳の異称 (ニ)五十歳の異称
98. 三舎 (サンシャ)をさける (イ)恐れて近づかない (ロ)見ないようにする (ハ)直接行動をつつしむ (ニ)困難な事をしない
99. 馬を牛に乗りかえる (イ)仕事の中で横道にそれてしまう (ロ)途中で大胆な方向転換を行なう (ハ)劣ったものを捨ててすぐれたものにかえる (ニ)すぐれたものを捨てて劣ったものにかえる
100. あばずれ (イ)あわてもの (ロ)ぶしょうなもの (ハ)すれっからし (ニ)ヒステリー

(No. 6)

1. いなす (イ)相手の好意を無にする (ロ)相手の勢いを軽くかわす (ハ)話を他の方向にそらす (ニ)話をうやむやにしてしまう
2. かたすかし (イ)相手のごまかしを見破ること (ロ)相手をおとし入れること (ハ)相手の力をうまくそらすこと (ニ)仲間からうまく抜け出すこと
3. こまたすくい (イ)相手のすきをねらうやり方 (ロ)かかげで小細工をするやり方 (ハ)小器用に立ちまわるやり方 (ニ)苦しまぎれの無謀なやり方
4. かまをかける (イ)自然にしゃべるようにさそいをかける (ロ)ようすをうかがいながら問いを進める (ハ)白状させるために強引に問いただす (ニ)いいかげんなうそを言ってみる
5. 鼻をあかす (イ)あざむく (ロ)だしぬく (ハ)恥をかかす (ニ)慢心をくじく
6. したり顔 (ガオ) (イ)皮肉そうな顔つき (ロ)失敗したという顔つき (ハ)悟ったような顔つき (ニ)得意満面という顔つき
7. セコハン (イ)二流品 (ロ)はんぱ物 (ハ)中古品 (ニ)質流れ品
8. エピソード (イ)挿話 (ロ)伝説 (ハ)回想録 (ニ)笑話
9. ドグマ (イ)偏見 (ロ)創見 (ハ)速断 (ニ)独断

10. 鹿島立（カシマダチ） (イ)神社に参拝すること (ロ)外国へ旅立つこと (ハ)朝早く出発すること
(ニ)旅行に出発すること
11. 定石（ジョウセキ） (イ)極めて平凡なやり方 (ロ)きまりきったやり方 (ハ)大事をとったやり方
(ニ)奇想天外のやり方
12. 動静（ドウセイ） (イ)ようす (ロ)健康状態 (ハ)株の相場 (ニ)生と死
13. 耳順（ミジュン） (イ)四十歳の異称 (ロ)五十歳の異称 (ハ)六十歳の異称 (ニ)七十歳の異称
14. やっちゃば (イ)ごみすて場 (ロ)魚市場 (ハ)草花市場 (ニ)青物市場
15. ろうず物 (イ)きず物の商品 (ロ)投げ売りの商品 (ハ)腐った食品 (ニ)出来損いの品物
16. あたりばこ (イ)手文庫 (ロ)玉手ばこ (ハ)すずりばこ (ニ)二重のはこ
17. レジスタンス (イ)抗議 (ロ)抵抗 (ハ)闘争 (ニ)暴力
18. エキストラ (イ)映画の小道具方 (ロ)かけだしの俳優 (ハ)主役以外の俳優 (ニ)臨時やといの俳優
19. ぞめく (イ)ひやかしながら歩く (ロ)うかれざわいで歩く (ハ)がやがや大騒ぎする (ニ)大声でどなり散らす
20. 梁上の君子（リョウジョウノクンシ） (イ)どろぼうのこと (ロ)すばしい人 (ハ)真にかしい人
(ニ)徳の高い人
21. お歴（オレキレキ） (イ)きりょうのよい人々 (ロ)体格のよい人々 (ハ)身分の高い人々 (ニ)着かざった人々
22. 三枚目（サンマイメ） (イ)美男役 (ロ)どうけ役 (ハ)かたき役 (ニ)ふけ役
23. 駄賃（ダチン） (イ)おこづかい (ロ)おつかい賃 (ハ)売買の口銭 (ニ)小額のお金
24. 虫がいい (イ)自分の都合だけ考える (ロ)ひとりえらぶっている (ハ)ひどく気まぐれである (ニ)ひとりよがりである
25. 井戸端会議（イドバタカイギ） (イ)長々となかなか終らない話 (ロ)いつまでたっても結論の出ない話 (ハ)女が集まってする政治の話 (ニ)女が集まってする世間話
26. フロック (イ)まぐれ当り (ロ)実力の通り (ハ)不運なこと (ニ)幸福なこと
27. 腰（コシ）くだけ (イ)消極的でしりごみすること (ロ)態度が弱々しいこと (ハ)途中でだめになること (ニ)立ち上がれなくなること
28. 外貨（ガイカ） (イ)輸入の品物 (ロ)外国の借金 (ハ)外国の資本 (ニ)外国の貨幣
29. やまかん (イ)乱暴なしわざ (ロ)投機的なしわざ (ハ)気乗り薄なこと (ニ)積極的なこと
30. 切口上（キリコウジョウ） (イ)あいさつの時に述べる言葉 (ロ)舞台上で役者の使うせりふ (ハ)改まった調子の言葉つき (ニ)見くびった調子の言葉つき
31. 下駄（ゲタ）をあずける (イ)きびしく文句を言う (ロ)任せて責任を持たせる (ハ)むりやりにさせる (ニ)好きなようにさせる
32. ぶたばこ (イ)小さな家のこと (ロ)自分の家の謙称 (ハ)警察の留置場 (ニ)ごみための箱
33. デザイン (イ)裁縫 (ロ)広告 (ハ)表紙 (ニ)図案
34. めくら暦（ゴヨミ） (イ)文盲のための暦 (ロ)盲人用の点字の暦 (ハ)一枚ずつめくる暦 (ニ)きわめて簡略な暦
35. ポンチ絵 (イ)ごく簡略な絵 (ロ)こっけいな絵 (ハ)ごく低俗な絵 (ニ)でたらめの絵
36. いわく (イ)前科 (ロ)事情 (ハ)条件 (ニ)出典
37. 弾丸道路（ダンガンドウロ） (イ)まっすぐについている道路 (ロ)舗装されたりっぱな並木道 (ハ)武器を運ぶための道路 (ニ)速く走る自動車のための道路
38. 苔の衣（コケノコロモ） (イ)僧侶などの衣服 (ロ)あかのついた衣服 (ハ)古びた粗末な衣服 (ニ)よれよれの衣服
39. 尺牘（セキトク） (イ)漢文 (ロ)筆跡 (ハ)公文書 (ニ)書簡

40. 狂言(キョウゲン) まわし (イ)劇の進行を指図し監督する人 (ロ)劇の進行につれて解説をする人
(ハ)劇の進行に終始必要な登場人物 (ニ)滑稽なしぐさで笑わせる人物
41. 銀漢(ギンカン) (イ)銀製の食器 (ロ)銀色の水面 (ハ)あまのがわ (ニ)銀髪の男
42. 他人行儀(タニギョウギ) (イ)しんせつな振舞 (ロ)みえをはった振舞 (ハ)ていねいな振舞
(ニ)よそよそしい振舞
43. 店子(タナコ) (イ)借家人 (ロ)商店員 (ハ)女売子 (ニ)行商人
44. 甚六(ジンロク) (イ)きかん坊 (ロ)甘ったれ (ハ)ぼんやり (ニ)泣き虫
45. 腰掛仕事(コシカケシゴト) (イ)永続的でなく仮に従う仕事 (ロ)少しも動かずに楽に出来る仕事
(ハ)すわったままで出来る仕事 (ニ)投げやりな態度でする仕事
46. 浮かぬ顔 (イ)不快そうな顔つき (ロ)げげんな顔つき (ハ)悲しそうな顔つき (ニ)しずんだ顔つき
47. 水をむける (イ)皮肉を言う (ロ)誘いかける (ハ)話しかける (ニ)口を入れる
48. ほぞをかむ (イ)落胆する (ロ)後悔する (ハ)反省する (ニ)驚嘆する
49. 着服(チャクフク) する (イ)金品をひそかに自分のものにする (ロ)品物を苦心して自分の手に入る
(ハ)商売の取引で金をもうける (ニ)汚職をして裁判にかけられる
50. クライマックス (イ)激変期 (ロ)危険期 (ハ)最高潮 (ニ)一段落
51. ロボット (イ)他から馬鹿にされる人 (ロ)だまりこんでいる人 (ハ)まったく節操のない人 (ニ)他に
操縦されて動く人
52. シック (イ)しゃれたこと (ロ)豪華なこと (ハ)地味なこと (ニ)浮気なこと
53. 海賊版(カイゾクバン) (イ)海賊の出版書 (ロ)不正の複製書 (ハ)密輸入の洋書 (ニ)誤植の多い書
54. 客死(カクシ) (イ)心中すること (ロ)突然死ぬこと (ハ)旅先で死ぬこと (ニ)けがで死ぬこと
55. 備荒(ビコウ) (イ)台風に備えること (ロ)凶年に備えること (ハ)火災に備えること (ニ)盗賊に備
えること
56. 楽屋話(ガクヤバナシ) (イ)むだ話 (ロ)なが話 (ハ)芝居の話 (ニ)内幕話
57. めんくい (イ)きりょうのぞみ (ロ)好き嫌いの強いこと (ハ)出たらめな行動 (ニ)あわてふためくこと
58. ほえづら (イ)笑い顔 (ロ)おこり顔 (ハ)しぶい顔 (ニ)泣き顔
59. 奉加帳(ホウガチャウ) (イ)署名運動 (ロ)お金の出納帳 (ハ)寄付金の帳面 (ニ)見舞受付の帳面
60. 形而下(ケイジカ) (イ)形をとって現われないもの (ロ)形をとって現われるもの (ハ)卑近なつま
らないもの (ニ)深遠な哲理を含んだもの
61. 油照(アブラデリ) (イ)顔があぶらでてかか光ること (ロ)風がなくてじりじり照りつけること
(ハ)晴れ上がってかんかん照りつけること (ニ)油で魚などをいためること
62. 土壇場(ドタンバ) (イ)完成しようという場合 (ロ)苦境におちいった場合 (ハ)もう最後という場
合 (ニ)一気に逆転した場合
63. はたご (イ)やどや (ロ)茶店 (ハ)酒場(サカバ) (ニ)土産物
64. コンテスト (イ)顔見せ (ロ)展覧会 (ハ)競技会 (ニ)独演会
65. メッキがはげる (イ)本性(ホンショウ)が現われる (ロ)ねうちが失われる (ハ)みもちが悪くなる
(ニ)評判が悪くなる
66. 殺到(サットウ) (イ)みな殺しにすること (ロ)いきなりぶつかること (ハ)しんけん走ること
(ニ)どっと押し寄せること
67. どすをきかす (イ)皮肉る (ロ)すごむ (ハ)にらむ (ニ)どなる
68. 金輪際(コンリンザイ) (イ)どこまでも (ロ)せいぜい (ハ)ほとんど (ニ)ようやく
69. 馬の骨 (イ)住所の定まらない人 (ロ)索性(スジョウ)のわからない人 (ハ)姓名のわからない人
(ニ)聞きわけのない人
70. うぶすな (イ)赤ん坊の名付け親 (ロ)その人にとって未知の土地 (ハ)その人のうまれた土地 (ニ)赤
ん坊に使わせる湯

71. 竹帛(チクハク) (イ)竹の葉 (ロ)しない (ハ)ハンカチ (ニ)書物
72. 油をしぼる (イ)無一文にしてしまう (ロ)本音(ホンネ)をはかせる (ハ)きびしくせめなじる (ニ)しつこくからかう
73. 棚(タナ)に上げる (イ)いいかげんにごまかす (ロ)捨てておいて言及しない (ハ)すっかり忘れ去る (ニ)しまいなくしてしまう
74. やぶから棒(ボウ) (イ)だしぬけなことのたとえ (ロ)無用心なことのたとえ (ハ)乱暴なことのたとえ (ニ)無謀なことのたとえ
75. 白面(ハクメン) (イ)おしろいをぬった顔 (ロ)全く酒は飲んでいないこと (ハ)全然見知らないこと (ニ)年少で経験に乏しいこと
76. 耆宿(キシュク) (イ)古い宿屋 (ロ)汚い宿屋 (ハ)おいぼれ (ニ)老大家
77. 通事(ツウジ) (イ)手紙 (ロ)運送 (ハ)通訳 (ニ)相談
78. 文民(ブンミン) (イ)軍人以外の人 (ロ)おだやかな人 (ハ)小説を書く人 (ニ)世を捨てた人
79. テケツ (イ)映画館 (ロ)入り口 (ハ)売上金 (ニ)切符売り
80. 猫(ネコ)に小判(コバン) (イ)何も知らないことのたとえ (ロ)もったいないことのたとえ (ハ)役に立たないことのたとえ (ニ)何の関係もないことのたとえ
81. 逐鹿(チクロク) (イ)ある地位を得ようと争うこと (ロ)どちらが早いか競争すること (ハ)腕の力の強さを争うこと (ニ)鹿を追って道に迷うこと
82. 切札(キリフダ) (イ)強硬な手段 (ロ)反問苦肉の策 (ハ)とっておきの手段 (ニ)成功疑いなしの手段
83. 糊塗(コト)する (イ)さっさと片付ける (ロ)ごまかしの処置をする (ハ)闇から闇へほうむる (ニ)くぎづけにしてしまう
84. 茶々(チャチャ)を入れる (イ)じゃまをする (ロ)おどろかす (ハ)おどける (ニ)お相手をする
85. バーゲン・セール (イ)年末売出し (ロ)夏季売出し (ハ)大売出し (ニ)安売り
86. セクレタリー (イ)お伴 (ロ)秘書 (ハ)給仕 (ニ)事務員
87. 沙門(シャモン) (イ)公卿 (ロ)歌人 (ハ)俳人 (ニ)僧侶
88. きりもりする (イ)おていさいをかざる (ロ)適当に物事をさばく (ハ)余計な世話をやく (ニ)傍若無人に処置する
89. おどしゃをかける (イ)相手をからかう (ロ)相手をおどかす (ハ)相手を喜ばせる (ニ)相手を屈伏させる
90. 漁色(ギョシヨク) (イ)魚つりに熱心なこと (ロ)趣味におぼれること (ハ)女をあざりまわること (ニ)酒に身を持ちくずすこと
91. 家憲(カケン) (イ)一家の歴史 (ロ)一家の言い伝え (ハ)一家の財産 (ニ)一家のおきて
92. 妍(ケン)をきそう (イ)優劣を争う (ロ)美しさを争う (ハ)色の白さを争う (ニ)巧みさを争う
93. 惘隠(ソクイン) (イ)あわれむこと (ロ)かくれること (ハ)秘密にすること (ニ)なぐさめること
94. 局方(キョクホウ) (イ)郵便事務の電報 (ロ)日本薬局処方 (ハ)局部的な療法 (ニ)局地的な問題
95. 鳥目(チュウモク) (イ)とりめ (ロ)うおのめ (ハ)おかね (ニ)お礼の品
96. きらず (イ)おから (ロ)豆腐 (ハ)豆かす (ニ)大豆
97. パージ (イ)命令 (ロ)退職 (ハ)免職 (ニ)追放
98. 切米(キリマイ) (イ)切り餅 (ロ)扶持(フチ)米 (ハ)こごめ (ニ)おそなえ
99. ほおかぶり (イ)視野のせまいこと (ロ)軽くあしらうこと (ハ)知らぬふりをする (ニ)隠しごとをすること
100. はこ師 (イ)乗物の中ですりを働くもの (ロ)土蔵を破ってぬすみを働くもの (ハ)汽車や電車をただ乗りするもの (ニ)もっぱら箱の類を作る職人

(六) 結果の整理と考察

(1) 調査用紙は、各回とも収載語数が100であるので、便宜上、1語1点、計100点満点として採点した。回別・得点別に人員の分布状況をまとめてみると、次の(付表3)のようになった。

(付表3) 回別・得点別人員分布

回 得点 人数・%	一		二		三		四		五		六		平均	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
90点台			1	0.6										
80点台	12	7.3	20	13.1	9	5.9	5	3.3	1	0.7	6	4.2	4	2.4
70点台	39	23.6	55	35.9	34	22.2	21	13.7	22	14.8	26	18.1	29	17.4
60点台	62	37.6	54	35.3	69	45.1	56	36.6	69	46.3	60	41.7	81	48.5
50点台	40	24.2	17	11.1	27	17.6	50	32.7	44	29.5	38	26.4	39	23.4
40点台	12	7.3	6	3.9	13	8.5	18	11.8	9	6.0	12	8.3	12	7.2
30点台					1	0.6	2	1.3	4	2.7	1	0.7	2	1.2
20点台							1	0.6			1	0.7		
最高点	89		90		85		85		80		88		84.0	
最低点	41		40		34		29		33		29		35.5	
平均点	64.6		69.1		64.1		59.7		60.5		62.3		63.2	
調査人員	165		153		153		153		149		144		167	

この表を見て気づいた点をいくつか挙げてみる。

- イ) 平均点は、最低が第四回の59.7、最高が第二回の69.1、総平均が63.2となり、まず良好な成績であったと思われる。ただし、当初のわれわれの予想としては、65点～70点平均であったので、その意味では、やや期待を裏切られたような感じを受けた。
 - ロ) 各回とも、60点台が35%～46%というように最も多く、それをはさんで50点台(11%～33%)、70点台(14%～36%)が多かったが、これは予想していたとおりであり、まず順当な結果と思われる。なお、50点台、60点台、70点台を合わせると、82%～91%となり、これは、調査した語彙が、後述するように一部難解なものを含んでいたにもかかわらず、総体的には妥当な難易度を有していたことを示すものと思われる。
 - ハ) 各回とも、最高点が最低点の2倍～3倍というように、生徒個人の成績にはかなりの開きが見られた。これはカンあたりのずれということを多少は考慮に入れなければならないにしても、やはり、生徒個人の語彙力の隔りと見なしてよからうと思われる。それにしても、これほどの開きがあるということは、われわれの予想していなかったところであり、今後の研究課題とならう。
- (2) 調査した600語について、その誤答率を調べ、その結果をまとめたところ、次の

(付表4) のようになった。

(付表4) 回別・誤答率別語数一覧

誤答率	回	一	二	三	四	五	六	合計
90 %	台	3	1	3	3	4	2	16
80 %	台	5	4	11	8	6	4	38
70 %	台	11	1	6	9	12	8	47
60 %	台	7	8	7	7	7	12	48
50 %	台	5	11	3	14	5	9	47
40 %	台	10	7	7	5	8	11	48
30 %	台	9	10	11	13	9	11	63
20 %	台	10	18	9	9	15	8	69
10 %	台	13	17	16	10	11	13	80
10 %	未満	27	23	27	22	23	22	144
合計		100	100	100	100	100	100	600

試みに、誤答率70%以上の語、つまり、難度の高い語がどのくらいあるかを回別にまとめ、多い順に並べてみると、第二回(6)、第六回(14)、第一回(19)、第三、四回(ともに20)、第五回(22)の順となり、逆に誤答率30%未満の語、つまり、難度の低い語がどのくらいあるかを回別にまとめ、少い順に並べてみると、第二回(58)、第三回(52)、第一回(50)、第五回(49)、第六回(43)、第四回(41)の順となり、平均点の最も高かった第二回は、難度の高い語が他回に比して最も少く、逆に難度の低い語は他回に比して最も多いということがわかる。また、平均点の最も低かった第四回は、難度の高い語の数では第四位であるが、難度の低い語の数では最少となり、難度の低い語が他回に比して最も少かったことが、平均点の最も低かった主な理由であることがわかる。なお、他の回についても、難度の高い語及び低い語の数の多少が平均点の高低に大きなかわりを持っていることがわかる。

(3) 次に、難度の高い語及び低い語をそれぞれ誤答率80%以上及び5%未満のものに限って示すと、次の(付表5)のようになる。

(付表5) 高難度の語及び低難度の語

	誤答率 80 % 以上		誤答率 5 % 未満	
	番号	語	番号	語
第	13	サンフォライズ	1	あまのじゃく
	23	にどいも	3	顔 役
	31	ニコボン	8	成 金
	48	唐 物 屋	18	けりをつける
	58	ちょうちんをもつ	21	一 目 散

一 回	75	大 童	29	赤 字
	83	ラ ジ オ	30	白 書
	85	の び	33	ギ ャ ン グ
			42	黒 幕
			49	内 弁 慶
			54	風 聞
			62	三 面 記 事
			63	二 枚 目
			72	ローカル・カラー
			74	テ ク シ ー
			88	螢 光 燈
			95	へ そ く り
	第 二 回	13	月 下 氷 人	4
30		口 過 ぎ	5	汚 職
43		五 風 十 雨	7	筋 金
48		秋 霜	12	が ち ゃ が ち ゃ
57		慶 庵	14	バンガロウ
			19	パントマイム
			25	目 抜
			41	野 分
			51	め か す
			62	肩 身
			64	手 を 焼 く
			65	お 手 の も の
			72	す ね か じ り
第 三 回	1	椋 鳥	5	たぬきねいり
	6	いたちの道	15	うなぎのぼり
	13	か け	20	負けずぎらい
	29	黒 木	28	ブラック・リスト
	30	緑 林	34	膝 栗 毛
	32	丹 青	48	一 石 二 鳥
	50	一 言 居 士	51	四 面 楚 歌
	58	国 手	52	ワ ン マ ン
	67	み お	55	千 鳥 足
	76	た て ひ く	63	水 に 流 す
	84	江 湖	65	山 師
	86	尤 物	71	デ ル タ
	99	事 大 主 義	75	ひ と は だ ぬ ぐ
100	侃 侃 諤 諤	83	犬 死	

第 四 回	4	布 衣	9	亡 命
	5	二 千 石	23	月 並
	12	法 語	26	どさまわり
	16	二階から目薬	34	折 紙 付
	24	半 風 子	36	大 黒 柱
	44	一 見	56	パイロット
	48	尚 齒	62	ポーカー・フェース
	52	漏 刻	63	ハ ム
	70	口 錢	86	文 盲
	76	黄 口 児	90	拍 子
	80	汗 牛 充 棟		
第 五 回	4	東 道	27	定 年
	11	連 座	31	い か さ ま
	20	敵 本 主 義	49	しらを切る
	21	月 旦	57	水 の あ わ
	53	商 議	63	な わ ば り
	65	蒲 柳	64	アクロバット
	74	莫 逆	78	舶 来 品
	85	げ て も の	79	白羽の矢を立てる
	92	お た な も の	81	デラックス
	98	三舎をさける	83	虫の知らせ
		86	ブ ラ ン ク	
第 六 回	10	鹿 鳥 立	2	かたすかし
	16	あたりばこ	21	お 歴 歴
	34	め くら 暦	32	ぶ た ば こ
	40	狂言まわし	33	デ ザ イン
	75	白 面	42	他 人 行 儀
	89	おどしゃをかける	50	クライマックス
			51	ロ ボ ッ ト
			65	メッキがはげる
			66	殺 到
			67	どすをきかす
			69	馬 の 骨
			74	やぶから棒
			82	切 札

一般に、「ニコポン」(一の31)・「ラジオ」(一の83)などの隠語的なものや、「江湖」(三の84)・「侃侃諤諤」(三の100)・「莫逆」(五の74)などの漢語は誤答率が高く、「ローカル・カラー」(一の72)・「パントマイム」(二の19)・「パイロット」(四の56)などの外来語や、「けりをつける」(一の18)・「手を焼く」(二の64)・

「ひととはぬぐ」(三の75)などの国語の成句は、誤答率が低いようである。また、「顔役」(一の3)・「いかさま」(五の31)・「なわばり」(五の63)・「ぶたばこ」(六の32)などの語も誤答率が低い、これはテレビや映画などの刑事物やばくちうち物などの影響によるものかと思われる。

(4) 調査した600語の中には、たとえば、「ニコボン」(一の31)・「アイス」(一の81)・「一六銀行」(一の92)・「二本棒」(三の47)などの隠語的なものや、「門前雀羅を張る」(一の80)・「年齒」(二の34)・「三太夫」(三の46)・「丸公」(三の87)などのすでに死語化したものや、「つけうま」(三の9)・「いかさま」(五の31)・「おどしゃをかける」(六の89)などのあまり品位のない俗語などが、かなり多く含まれている。そこで、われわれは総数600語の中で、現在もなお使用されることが多く、かつ、標準語的表現からあまりかけ離れていないと思われる語であって、しかも、今後の国語科教材の学習指導上、ぜひ生徒に覚えておいてもらいたいと思う語を、誤答率25%以上のものの中から約150語抽出し、さらに協議を重ねてこれを100語にしばった。

この選択した100語についての集計結果をまとめたものが、次の(付表6)である。

(付表6) 集 計 結 果 (選択100語)

誤答率順位	回	番号	語句	正 答	誤 答				無解答 %	誤答率 (含無解答) %
				%	%					
1	四	16	二階から 目薬	(イ)まわりくどい ことのとえ 6.5	(ロ)不可能なこと のとえ 54.9	(ハ)役に立たない ことのとえ 30.1	(ニ)知恵のないこ とのとえ 5.2	3.3	93	
2	五	65	蒲 柳	(イ)体質のよわい こと 9.4	(ロ)性格の優柔不 断なこと 39.6	(ハ)気立てのやさ しいこと 6.7	(ニ)態度の上品な こと 6.0	38.3	91	
3	二	30	口過ぎ	(イ)生 計 11.8	(ロ)おしゃべり 58.2	(ハ)悪 口 7.2	(ニ)弁 解 3.3	19.6	88	
〃	三	99	事大主義	(イ)勢力の強いも のにつき従う 主義 11.8	(ロ)物事を安易に は考えない主 義 46.4	(ハ)内容よりも形 式を重んずる 主義 20.3	(ニ)自分の事を特 に大事にする 主義 3.9	17.6	88	
5	一	75	大 童	(イ)けんめいに働 くこと 12.1	(ロ)あわてふため くこと 77.0	(ハ)大いに苦心す ること 4.8	(ニ)ゆったりして いること 1.2	4.8	88	
6	六	40	狂言まわ し	(イ)劇の進行に終 始必要な登場 人物 16.0	(ロ)滑稽なしぐさ で笑わせる人 物 55.6	(ハ)劇の進行につ いて解説をす る人 10.4	(ニ)劇の進行を指 図し監督する 人 6.3	11.8	84	
7	三	50	一言居士	(イ)何事にも口を 出したがる人 17.0	(ロ)とかく理屈っ ぱく言う人 29.4	(ハ)簡単なことし かしゃべれな い人 16.3	(ニ)人の話をやじ るのがうまい 人 12.4	24.8	83	

8	五	11	連座	(イ)まきぞえ 17.4	(イ)共同謀議 46.3	(ロ)係累 14.1	(ニ)証人 2.1	21.3	83
9	一	58	ちょうちんを持つ	(イ)他人の長所を 宣伝する 19.4	(イ)人をおだて あげる 40.0	(ニ)やたらに言 ふらす 13.3	(ロ)他人のあらを 宣伝する 7.3	20.0	81
10	四	1	泰斗	(ロ)大家 20.3	(イ)中心人物 27.5	(イ)指揮者 9.2	(ニ)代弁者 3.3	39.9	80
11	五	52	クレーム	(イ)求償 21.5	(イ)注文 22.2	(ロ)要請 16.5	(ニ)処罰 4.7	34.9	79
12	五	12	リポート	(イ)割りもどし 22.2	(ニ)謝礼の金 51.0	(イ)そでの下 11.4	(ロ)コミッション 3.4	5.4	78
13	一	94	しもたや	(ニ)商売をしない で暮している 家 23.6	(ロ)構えのごく小 さな家 15.2	(イ)構えのごく大 きな家 13.3	(イ)店を持って商 売をしている 家 10.9	37.0	77
14	一	44	還暦	(イ)六十一才 24.2	(ロ)六十才 57.0	(ニ)七十才 7.3	(イ)五十才 4.8	6.7	76
15	三	33	出藍	(イ)出た元の物よ りまさること 24.8	(ニ)低い身分から 出世すること 30.1	(ロ)きわめてすぐ れていること 15.7	(イ)すぐれた学者 になること 3.9	25.5	75
16	三	35	色を失う	(ロ)驚きおそれる 25.5	(イ)あわてふため く 67.2	(イ)ぼんやりする 2.0	(ニ)苦しみたおれ る 2.0	3.3	75
17	四	99	荒唐	(ロ)とりとめのな いこと 26.8	(イ)あらあらしい こと 17.6	(イ)おおざっぱな こと 15.7	(ニ)ずさんでい ること 13.7	26.1	73
18	一	37	麦秋	(イ)陰暦五月の異 称 27.9	(ニ)陰暦八月の異 称 21.8	(ロ)陰暦六月の異 称 18.2	(イ)陰暦七月の異 称 10.3	21.8	72
19	一	2	当用	(イ)さしあたりの 用 29.0	(ニ)常に用いるべ き 37.0	(イ)当然用いるべ き 21.8	(ロ)当番としての 用 0.6	12.1	71
20	三	19	おもたせ	(イ)来客が持つて きた贈物 29.4	(ニ)人に負担をか けること 26.1	(イ)ごちそうにな ること 8.5	(ロ)旅先からのみ やげもの 6.5	29.4	71
21	四	97	端境期	(イ)新米が出回ろ うとする時期 30.1	(イ)二月・八月の 物の売れない 時期 31.4	(ロ)老年にはいろ うとする時期 8.5	(ニ)年末から新年 にかけての時 期 8.5	21.6	70

22	六	92	妍をきそ う	(ロ)美しさを争う 32.6	(イ)優劣を争う 36.8	(ニ)巧みさを争う 13.9	(ハ)色の白さを争 う 3.5	13.2	67
23	五	89	大乘的	(イ)もっぱら大局 のために考える 32.9	(ロ)物事をごく大 ざっぱに考える 22.8	(ハ)清濁あわせ飲 む態度である 9.4	(ニ)形式的で消極 的な態度である 8.1	26.8	67
24	六	93	惻 隠	(イ)あわれむこと 33.3	(ロ)秘密にするこ と 33.3	(ハ)かくれること 9.7	(ニ)なぐさめるこ と 4.2	19.4	67
25	六	9	ドグマ	(ニ)独 断 34.7	(イ)偏 見 25.0	(ロ)創 見 9.0	(ハ)速 断 8.3	22.9	65
〃	六	30	切口上	(イ)改まった調子 の言葉つき 34.7	(イ)あいさつの時 に述べる言葉 38.9	(ニ)見くびった調 子の言葉つき 19.4	(ロ)舞台上で役者の 使うせりふ 3.5	3.5	65
27	三	96	袂をわか つ	(ロ)人と別れる 35.9	(イ)仲よくする 53.6	(ニ)死に別れる 4.6	(ハ)口論をする 0.7	5.2	64
28	五	51	ユース・ ホステル	(ロ)ハイカー用宿 泊所 36.3	(イ)青年の合宿所 59.7	(イ)観光旅館 1.4	(ニ)高級旅館 0.7	2.1	64
29	一	78	口をぬぐ う	(イ)そしらぬ顔を する 37.6	(ニ)あと片付けを する 26.7	(ロ)おしゃべりを やめる 15.8	(ハ)だまりこんで いる 11.5	8.5	62
〃	五	36	エスプリ	(ロ)機 知 37.6	(イ)滑 稽 14.7	(イ)感 情 10.1	(ニ)哀 愁 8.7	28.9	62
31	五	7	急先鋒	(イ)まっさきに進 む人 38.3	(ロ)進歩的な考え の人 29.5	(イ)最も強硬な人 15.4	(ニ)最も努力する 人 1.4	14.7	62
〃	五	72	黄 泉	(ロ)死後の世界 38.3	(イ)硫黄泉 26.8	(ハ)にごった水 11.4	(ニ)飲み水 2.1	21.5	62
33	六	60	形而下	(ロ)形をとって現 われるもの 38.9	(イ)形をとって現 われないもの 24.4	(ハ)卑近なつまら ないもの 9.7	(ニ)深遠な哲理を 含んだもの 9.0	18.1	61
34	三	68	開 山	(イ)寺院を創建し た僧 39.2	(イ)登山季節の始 まり 41.2	(ニ)鉱山を発見し た人 3.3	(ロ)登山路を開い た人 0	16.3	61
〃	四	31	サスペン ス	(ニ)不 安 39.2	(イ)冒 険 58.8	(ロ)情 緒 0	(イ)気 品 0	2.0	61

36	四	39	磊落	(ロ)小事にこだわらないさま 40.5	(ハ)ひどく無神経なさま 13.1	(ニ)非常に喜んで いるさま 9.8	(シ)のろのろして いるさま 2.0	34.6	59
37	一	98	岡目八目	(イ)局外者には得失がよくわかること 40.6	(ロ)勝手気ままなことをいう 20.6	(ニ)よその事に構わず独断的なこと 10.9	(シ)事件を冷静にながめていること 6.1	21.8	59
38	二	3	台頭	(ロ)頭をもたげる 41.2	(ハ)強大になる 54.2	(イ)勇敢に戦う 0.7	(ニ)芽が出る 0.7	3.3	59
〃	二	35	舌代	(イ)口上の代りの書き付け 41.2	(ハ)各種の料理の代金表 15.7	(ロ)簡条書きにした書き付け 7.8	(シ)食べ物屋のメニュー 2.6	32.7	59
40	二	66	山の手	(ニ)高台地帯 42.5	(ハ)住宅地帯 56.9	(イ)工場地帯 0	(ロ)商業地帯 0	0.7	58
〃	四	85	二枚舌	(イ)一つ事を二様に言うこと 42.5	(ハ)話術が巧みなこと 38.6	(ロ)うまく言いくるめること 15.7	(シ)言葉の裏をさぐること 0.7	2.6	58
42	四	77	セクショナリズム	(イ)なわばり根性 43.1	(ハ)形式主義 24.2	(ロ)島国根性 19.0	(ニ)きちょうめん 1.3	12.4	57
43	三	98	令室	(ロ)人の妻を呼ぶ敬称 44.4	(ハ)人の娘を呼ぶ敬称 20.9	(イ)他家のへやを呼ぶ敬称 7.8	(ニ)指揮命令を下す所 5.9	20.9	56
44	五	15	逸話	(イ)世に知られない話 44.9	(ハ)世に伝承された話 32.2	(イ)大変興味のある話 17.4	(ロ)ユーモアのある話 1.4	4.0	55
45	六	26	フロック	(イ)まぐれ当り 45.1	(ハ)不運なこと 10.4	(ニ)幸福なこと 8.3	(ロ)実力の通り 7.6	28.5	55
46	四	81	破天荒	(ロ)前代未聞のこと 45.8	(ハ)世間を騒がすこと 20.3	(イ)すごい暴風雨 12.4	(ニ)凡人に出来ないこと 2.6	19.0	54
〃	六	52	シック	(イ)しゃれたこと 45.8	(ハ)地味なこと 52.8	(ロ)豪華なこと 0.7	(ニ)浮気なこと 0	0.7	54
48	五	45	深更	(ニ)夜ふけ 46.3	(イ)手厚いこと 9.4	(ハ)深い交際 9.4	(ロ)非常な親切 5.4	29.5	54
49	四	91	横車を押す	(イ)無理を通す 46.4	(ハ)側から口を出す 42.5	(ロ)強く反対する 5.2	(ニ)高圧的に出る 0.7	5.2	54

50	五	71	無頼の徒 (イ)職を持たない ならずもの 46.9	(ロ)悪事を多く重 ねた犯罪者 30.9	(ハ)身寄りのない 人たち 7.4	(ニ)仕事にあぶれ た人たち 2.1	12.8	53
51	二	74	足まめ (イ)歩行をいとわ ないこと 47.1	(ロ)たいへんまじ めなこと 21.6	(ハ)どこへでもで しゃばること 17.0	(ニ)足に出来るま め 1.3	13.1	53
〃	四	11	ぬか雨 (イ)こまかい雨 47.1	(ロ)どしゃぶり 24.2	(ハ)にわか雨 13.1	(ニ)しぐれ 5.2	10.5	53
53	三	61	水魚のま じわり (イ)ごくしたい 交際 48.4	(ロ)むつまじい夫 婦の仲 19.0	(ハ)通りいっぺん の交際 9.8	(ニ)ひどく水くさ い仲 3.9	19.0	52
〃	四	92	総花 (イ)一同に利益を 与えること 48.4	(ロ)花が一斉に満 開すること 9.2	(ハ)室を飾り付け ること 6.5	(ニ)みんなで芝居 を見ること 2.0	34.0	52
55	二	67	指弾 (イ)嫌悪し非難す ること 49.0	(ロ)人に命令を下 すこと 18.3	(ハ)人をやりこめ ること 14.4	(ニ)指で玉をはじ くこと 5.2	13.1	51
56	六	45	腰掛仕事 (イ)永続的でなく 仮に従う仕事 49.3	(ロ)投げやりな態 度です仕事 18.8	(ハ)少しも動かす に楽に出来る 仕事 13.9	(ニ)すわったまま で出来る仕事 8.3	9.7	51
57	四	59	平仄が合 わない (イ)つじつまが合 わない 49.7	(ロ)行動が言葉と ちがう 18.3	(ハ)全く見当がつか ない 5.9	(ニ)時刻にまに合 わない 0	26.1	50
58	五	76	ティーン ・エイ ジャー (イ)十三歳から十 九歳までの人 51.0	(ロ)十歳から十九 歳までの人 33.6	(ハ)十一歳から十 九歳までの人 14.1	(ニ)十二歳から十 九歳までの人 0.7	0.7	49
59	五	17	挽歌 (イ)死を悲しむ歌 51.8	(ロ)あわれな歌 27.5	(ハ)木挽きの歌 4.7	(ニ)恋の喜びの歌 4.0	12.0	48
60	六	83	糊塗する (イ)ごまかしの処 置をする 52.1	(ロ)くぎづけにし てしまう 13.9	(ハ)闇から闇へほ うむる 12.5	(ニ)さっさと片付 ける 3.5	18.1	48
61	二	63	肩を入れ る (イ)みかたする 52.3	(ロ)熱中する 32.7	(ハ)苦心する 3.3	(ニ)持ち上げる 2.0	9.8	48
〃	三	78	華燭 (イ)婚 礼 52.3	(ロ)誕生日 4.6	(ハ)金婚式 3.3	(ニ)還 暦 3.3	36.6	48
63	六	5	鼻をあか す (イ)だしぬく 53.5	(ロ)慢心をくじく 36.8	(ハ)恥をかかす 8.3	(ニ)あざむく 0.7	0.7	47

64	六	48	ほぞをかむ	(ロ)後悔する 54.2	(イ)落胆する 14.6	(ハ)反省する 9.7	(ニ)驚嘆する 4.2	17.4	46
65	二	33	口車	(ロ)うまく言いまわすこと 54.9	(イ)お調子を合わせること 28.1	(ハ)おべっかを言うこと 13.7	(ニ)冗談を飛ばすこと 0	3.3	45
〃	二	42	風致	(ロ)趣のあること 54.9	(イ)緑の住宅地 17.0	(ハ)広い公園 3.3	(ニ)風が通ること 2.6	22.2	45
67	三	36	色眼鏡	(ハ)とらわれた観察 55.6	(ニ)まちがった観察 34.6	(イ)裏まで見通す観察 6.5	(ロ)こまかい観察 0	3.3	44
68	五	8	独白	(ロ)ひとりごと形式のせりふ 56.4	(イ)身の上話をすること 21.5	(ハ)自分勝手にしゃべること 9.4	(ニ)ひとりで芝居をすること 0	12.9	44
69	四	14	かて	(ロ)食べ物 56.9	(イ)うるおい 34.6	(ハ)不動産 2.6	(ニ)供え物 2.0	3.9	43
〃	六	46	浮かぬ顔	(ニ)しずんだ顔つき 56.9	(ロ)げげんな顔つき 31.9	(イ)不快そうな顔つき 8.3	(ハ)悲しそうな顔つき 2.1	0.7	43
71	一	10	松の内	(イ)元日から七日まで 57.0	(ハ)元日から三日まで 29.7	(ニ)元日から十日まで 6.1	(ロ)元日から五日まで 2.4	4.8	43
72	四	51	スタンド・プレイ	(ハ)観客めあてのはでな動作 57.5	(イ)観客の喝采をあげる大演技 19.6	(ロ)観客席ではでな応援ぶり 17.0	(ニ)立ち上がって歌い出すこと 0	5.9	42
73	一	24	おおらか	(イ)おおよう 58.2	(ハ)おだやか 34.5	(ロ)大ざっぱ 7.3	(ニ)すべすべ 0	0	42
74	一	43	高飛車	(ニ)威圧的 59.4	(イ)ごうまん 30.3	(ハ)飛躍的 6.7	(ロ)がんこ 1.2	2.4	41
75	四	13	針小棒大	(ハ)物事を大げさに言うこと 59.5	(ロ)小事が大事件に発展すること 16.3	(イ)物事をとかく混同すること 5.9	(ニ)物事を過小視すること 2.1	15.7	41
76	五	55	敷居が高い	(ハ)不義理などでその家に行きにくい 60.4	(ロ)気ぐらいの高い家でたずねにくい 32.9	(ニ)小心なので目ざす家に行きにくい 3.4	(イ)説教されるのでたずねにくい 1.4	2.1	40
77	六	4	かまをかける	(イ)自然にしゃべるようにさそいかける 61.1	(ハ)いいかげんなうそを言うってみる 20.8	(ロ)ようすをうかがいながら問いを進める 8.3	(ニ)白状させるために強引に問いたです 6.9	2.8	39

78	六	85	バーゲン・セール	(㊦)安売り 62.5	(㊦)大売出し 35.4	(㊦)年末売出し 0.7	(㊦)夏季売出し 0.7	0.7	38
79	二	9	蟬時雨	(㊦)多くのせみが鳴き立てること 62.7	(㊦)雨が音を立てて降り出すこと 26.8	(㊦)せみがぱっと飛び出ること 2.0	(㊦)せみが鳴きながら飛ぶこと 0	8.5	37
〃	四	98	沽券にかかわる	(㊦)体面に関する 62.7	(㊦)面子にこだわる 24.2	(㊦)前言にこだわる 1.3	(㊦)生命に関する 1.3	10.5	37
81	五	60	羊頭狗肉	(㊦)見かけだけで実質の伴わないもの 63.1	(㊦)見えずいたうそを平気で言うこと 17.4	(㊦)中国の昔の肉屋の標識 0.7	(㊦)頭が羊でからだが大の形をしたもの 0.7	18.1	37
82	二	59	呉越同舟	(㊦)仲の悪い者が一緒にいること 63.4	(㊦)知らぬ者同士が一緒にいること 19.6	(㊦)大勢の人が一緒にいること 3.9	(㊦)仲のよい者が一緒にいること 1.3	11.8	37
〃	二	95	飯場	(㊦)土工の合宿所 63.4	(㊦)土木工事の現場 31.4	(㊦)大衆食堂 3.3	(㊦)小さな料理屋 1.3	0.7	37
〃	三	79	どろなわ	(㊦)事が起ってから用意すること 63.4	(㊦)もう間に合わないこと 19.0	(㊦)事が終って後悔すること 6.5	(㊦)どろまみれになったなわ 0	11.1	37
〃	四	47	海千山千	(㊦)経験をつんだしたたか者 63.4	(㊦)大変ごまかしのうまい者 13.7	(㊦)言うことをきかない強情者 4.6	(㊦)古い考えを強く守る者 2.0	16.3	37
〃	四	67	左前	(㊦)家運のかたむくこと 63.4	(㊦)暮しが楽になること 13.7	(㊦)横道にそれること 8.5	(㊦)急に逆転すること 2.0	12.4	37
87	一	41	未曾有	(㊦)きわめて珍しいこと 63.0	(㊦)きわめて偉大なこと 12.7	(㊦)ごく大じかけなこと 8.5	(㊦)ひどく大騒ぎなこと 1.8	14.1	36
〃	一	57	好事家	(㊦)ものずき 63.0	(㊦)世話やき 24.2	(㊦)学者 2.4	(㊦)変わり者 1.8	8.5	36
89	四	37	大御所	(㊦)その社会で大勢力を有する人 64.1	(㊦)隠居して第一線を退いた人 20.3	(㊦)かげであやつっている実力者 11.8	(㊦)その社会で世話役をつとめる人 1.3	2.6	36
90	二	23	鉄面皮	(㊦)あつかましいこと 64.7	(㊦)ひどく冷酷なこと 24.2	(㊦)どうもうな顔 0.7	(㊦)非常にしぶい顔 0	10.5	35
〃	三	39	ぬれ手で粟	(㊦)骨折らないで利益をえること 64.7	(㊦)ひどく大もうけをすること 24.8	(㊦)仕事がなかなか成功しないこと 3.3	(㊦)ひとりでに仕事すすむこと 2.0	5.2	35

92	五	22	ホステス (イ)女主人役 66.4	(ロ)女の給仕 21.5	(ハ)介添の女 6.7	(ニ)女の案内人 4.7	0.7	34
93	一	32	ハイカラ (イ)おしゃれなこと 66.7	(ロ)スマートなこと 26.7	(ハ)端正なこと 5.5	(ニ)高慢ちぎなこと 1.2	0	33
94	五	87	プロフィール (イ)横顔 67.1	(ロ)大写真 9.4	(ハ)正面像 7.4	(ニ)内幕 4.0	12.1	33
95	一	36	パニック (イ)金融界の恐慌 67.9	(ロ)暴動の起こること 6.1	(ハ)不景気なこと 4.2	(ニ)破産すること 3.6	18.2	32
96	六	6	したり顔 (イ)得意満面という顔つき 69.4	(ロ)悟ったような顔つき 18.8	(ハ)失敗したという顔つき 6.9	(ニ)皮肉そうな顔つき 0	4.9	31
97	二	26	焦眉の急 (イ)さしせまった急務 69.9	(ロ)気がいらいらすること 5.2	(ハ)もっとも危険なこと 3.3	(ニ)もっとも大切なこと 2.0	19.6	30
98	一	22	小春日和 (イ)初冬の暖かく晴れた日 70.3	(ロ)春先の暖かく晴れた日 20.6	(ハ)正月の暖かく晴れた日 6.7	(ニ)雲一つなく晴れた日 1.8	0.6	29
99	二	1	遊説 (イ)自分の意見を説き回ること 70.6	(ロ)議員候補者の選挙演説 28.1	(ハ)相手をくどき落とすこと 0.7	(ニ)観光地を案内すること 0.7	0	29
100	二	80	馬の耳に 念仏 (イ)少しも感じないで聞き流していること 71.9	(ロ)理解がまったく出来ないこと 26.1	(ハ)受け答えがとんちんかんなこと 1.3	(ニ)どんな人であっても宗教心はあること 0	0.7	28

この表を見てみると、この程度のことばは生徒も常識的に知っているであろうとわれわれが思っていた語についても、案外、生徒は正しい理解を示していないということがわかり、まことに意外であった。

ところで、生徒が語句の意味を誤解した理由として、次のような点を挙げるができるように思われる。

1) 字義の理解が不足していたため

(例)「大童」(一の75)——「童」は「わらわ髪」のことである。武士が髪を子供のようにざんばらにして戦う様子を評して用いた語であるが、「わらわ髪」ということを知らなかったために88%もの誤答率を示したものであろう。

「事大主義」(三の99)——「事大」とは「大ニ事^{ツカ}エル」ということであるが、それを知らずに、「大事」「重要」の意と解したため、誤答率が高かったであろう。

2) 部分的な字句にとられ過ぎたため

- (例) 「切口上」(六の30) — (イ) 「あいさつの時に述べる言葉」と答えた者が38.9%いるが、これは「口上」の語にとらわれ過ぎたものと思われる。
- 「狂言まわし」(六の40) — (ニ) 「滑稽なしぐさで笑わせる人物」と答えた者が55.6%もいるが、これは「狂言」という語にとらわれ過ぎて、「狂言」→「滑稽」というように考えたものであろう。〔もっとも、最近の司会者には、この(ニ)のようなタイプが多いので、そこから生まれた通俗的な理解とも見られるが。〕
- 3) 生徒の学習教材にその語が出てこないため
- (例) 「出藍」(三の33) や「惻隠」(六の93) など、かつては漢文の教科書などによく出てきた語であるが、最近はあまり取り上げられることがなく、本校で採択している教科書にも出ていないので、生徒は理解できなかったであろう。
- 4) 語義を拡大(延長)して解釈したため
- (例) 「色を失う」(三の35) — (イ) 「あわてふためく」と答えた者が67.2%もいるが、これは正解の「驚きおそれる」を拡大解釈したものと思われる。
- 「リベート」(五の12) — (ニ) 「謝礼の金」と答えた51%の者は、正解の「割りもどし」が、いわば謝礼金の意味を持っているところから拡大して解釈したのであろう。
- 5) 他の語と混同して類推したため
- (例) 「ちょうちんをもつ」(一の58) — (イ) 「人をおだてあげる」と答えた40%の者は、おそらく「たいこもち」の語と混同したものと思われる。
- 「口過ぎ」(二の30) — (ロ) 「おしゃべり」と答えた者が58.2%もいるが、「口が過ぎる」という場合と混同したものであろう。
- 6) その語が一般に使用されている地域と生徒の居住地域との環境的相違があるため
- (例) 「しもたや」(一の94) — この語は、本来、下町で生まれ、また現在でも下町ではかなり多く使用されているものと思われるが、本校の生徒の家庭は、多く山の手地区にあるため、生徒はこの語を知らなかったものと思われる。
- 「麦秋」(一の37)・「端境期」(四の97) — これらの語も、農村の子どもたちにとっては日常語と言えようが、都会に育った本校生徒にとっては、いわば無縁の語なのであろう。
- 7) 現在ではあまり使用されなくなった語であるため
- (例) 「磊落」(四の39)・「妍をきそう」(六の92) — これらの語は、中年以上の人がまれに使用する程度で、いわば今や死語化しつつある語とすることができよう。したがって、生徒が理解できなかったものと思われる。
- 8) 選択肢が適切でないため
- (例) 「一言居士」(三の50) の (イ) 「とかく理屈つぽく言う人」、「二階から目薬」(四の16) の (ロ) 「不可能なことのたとえ」・(イ) 「知恵のないことのたとえ」・(ニ) 「役に立たないことのたとえ」などは、いずれも、現実にそのような意味で使用されている場合があると考えられる。

9) 正解の語句に難解な表現があるため

(例) 「岡目八目」(一の98) —— 一見容易に思われるこの語に誤答が多かったのは、正解の語句の中に「局外者」という難解な表現があったためと思われる。

10) 語のとり上げ方が不適当であるため

(例) 「荒唐」(四の99) —— 普通は「荒唐無稽」という四字の熟語として使用することが多いが、これを「荒唐」だけ切りはなしてとり上げたため、生徒の解答も四つの選択肢に平均して分散したものである。

(5) 上述したことから見て、生徒の答案にあらわれた誤答の傾向として、次のような点を指摘することができる。

- 1) 字義・語義に即した理解でなく、その語義を拡大延長して、外延的または通俗的な意味のほうにより多くひかれて誤解することが多い。
- 2) 類字・類音・連想による誤りが多い。
- 3) 時代的・環境的・風俗的に縁遠い語は理解度が低い。
- 4) 故事熟語的・慣用的な漢語に対する理解が不十分である。

(七) 今後の予定

- 1) 昭和40年度において、新高二を対象にして、残りの600語について同様の方法で調査する。
- 2) 二回にわたる第一次調査の結果の考察にもとづき、さらに別の角度・方法により、生徒の語彙の実態を調査する。(第二次調査)
たとえば、語彙調査の成績と国語教科の成績および読書量との関連、理解語彙と表現語彙との相違などの点について調査したい。
- 3) 第一次・第二次の両調査の結果の考察にもとづいて、実地の学習指導面に反省と工夫とを加える。

(完)